

# 消防年報

— 令和3年版 —



佐倉市八街市酒々井町消防組合



# は し が き

この年報は、令和3年4月1日現在の佐倉市、八街市、酒々井町における消防現況及び令和2年度中の消防業務に関する諸般の事項について収録し、今後の消防行政の合理的な運営と消防力の充実に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

令和3年6月

佐倉市八街市酒々井町消防組合



## 目 次

ひと目でわかる消防組合	5
消防組合の位置	7
消防組合の沿革	8
消防組合の組織	12
消防本部・消防署の事務分掌	13
消防庁舎の概要	17

### 総 務 編

◇構成市町の面積・人口・世帯数	21
◇現有消防力	21
◇消防予算（歳入・構成市町別分担金・歳出）	22
◇消防職員の定員及び実員	23
◇消防職員の勤続年数	23
◇消防職員の配置状況	24
◇消防職員の年齢構成	25

### 通 信 指 令 編

◇消防通信概要	29
◇共同指令センターシステム構成図	30
◇消防組合システム構成機器一覧	32
◇無線電話施設の状況	34
◇通報受信状況	35
◇月別区分別 1 1 9 番受信状況（切断統計）	35
◇月別区分別火災指令状況	36
◇月別区分別救急指令状況	36
◇月別区分別救助指令状況	37
◇月別区分別その他指令状況	37
◇月別区分別災害通報受信状況	38
◇特殊通報の状況	38
◇口頭指導実施件数	39
◇1 1 9 情報登録の状況	39
◇年間の気象	40
◇過去 1 0 年間の気象	41
◇月別気象警報の状況	42

### 予 防 編

◇防火対象物数	45
◇中高層建築物数	47
◇用途別中高層建築物数	47
◇建築関係事務処理状況	48
◇危険物施設数の推移（過去 5 年間）	49
◇危険物施設事務処理状況	49
◇防火対象物立入検査執行状況	50
◇危険物施設立入検査執行状況	52

◇各種届出受理状況	53
-----------	----

## 火 災 編

◇火災の概要	57
◇火災発生状況	59
◇曜日別火災発生件数	60
◇覚知別火災発生件数	60
◇時間帯別火災発生件数	60
◇火災による死傷者の発生状況	61
◇火災による死傷者の推移(過去5年間)	61
◇出火率(人口1万人当たりの出火件数)(過去5年間)	61
◇建物火災用途別発生件数	62
◇発火源、経過、着火物分類状況	63
◇出火原因別発生件数(火災種別・月別全火災)	64
◇出火原因別発生件数(月別建物火災)	65
◇構成市町別火災の推移(過去5年間)	66
◇り災状況の推移(過去5年間)	67
◇出火原因別発生件数の推移(全火災:過去5年間)	68
◇出火原因別発生件数の推移(建物火災:過去5年間)	69
◇火災原因調査・鑑識用機(器)材保有状況	70

## 警 防 編

◇災害出動状況	73
◇災害種別出動状況	74
◇消防本部・消防署車両保有状況	75
◇消防本部・消防署車両配置状況	76
◇災害出動計画表	77
◇消火活動状況	78
◇救急活動概要	79
◇構成市町別救急活動状況	80
◇月別救急出場件数及び搬送人員	81
◇署所別救急活動状況	82
◇曜日別救急出場件数及び搬送人員	83
◇時間帯別救急出場件数	84
◇医療機関に対する収容依頼回数別搬送人員	85
◇覚知別救急出場件数	85
◇収容所要時間別搬送人員	86
◇年齢区分別事故種別搬送人員	87
◇傷病程度別事故種別搬送人員	88
◇救急隊員が行った応急処置等の状況	89
◇救急活動の推移(過去5年間)	90
◇事故種別ドクターヘリ連携活動状況	91
◇救命講習等実施状況	92
◇救命講習等の推移(過去5年間)	92
◇救助活動概要	93
◇構成市町別救助活動状況	94
◇事故種別救助出動人員及び活動人員	95

◇事故種別救助出動車両及び活動車両	95
◇救助活動の推移（過去5年間）	96
◇救助資機（器）材の保有状況	97
◇消防応援協定	98

### 消防音楽隊編

◇音楽隊員所属・階級別表	101
◇音楽隊の編成	101
◇音楽隊出演及び練習状況	101
◇音楽隊出演行事	101

### 消防団編

佐倉市消防団関係（資料提供：佐倉市）

◇消防団員配置状況	105
◇所属別消防団員数	105
◇消防団員の在職年数	105
◇消防団員の年齢構成	106
◇消防団員の職業	106
◇消防団車両及び小型ポンプ配置状況	107
◇消防水利	109

八街市消防団関係（資料提供：八街市）

◇消防団員配置状況	110
◇所属別消防団員数	110
◇消防団員の在職年数	111
◇消防団員の年齢構成	111
◇消防団員の職業	111
◇消防団車両及び小型ポンプ配置状況	112
◇消防水利	113

酒々井町消防団関係（資料提供：酒々井町）

◇消防団員配置状況	114
◇所属別消防団員数	114
◇消防団員の在職年数	114
◇消防団員の年齢構成	115
◇消防団員の職業	115
◇消防団車両及び小型ポンプ配置状況	116
◇消防水利	117





# ひと目でわかる消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合

令和3年4月1日現在（災害の状況は令和2年12月31日現在）

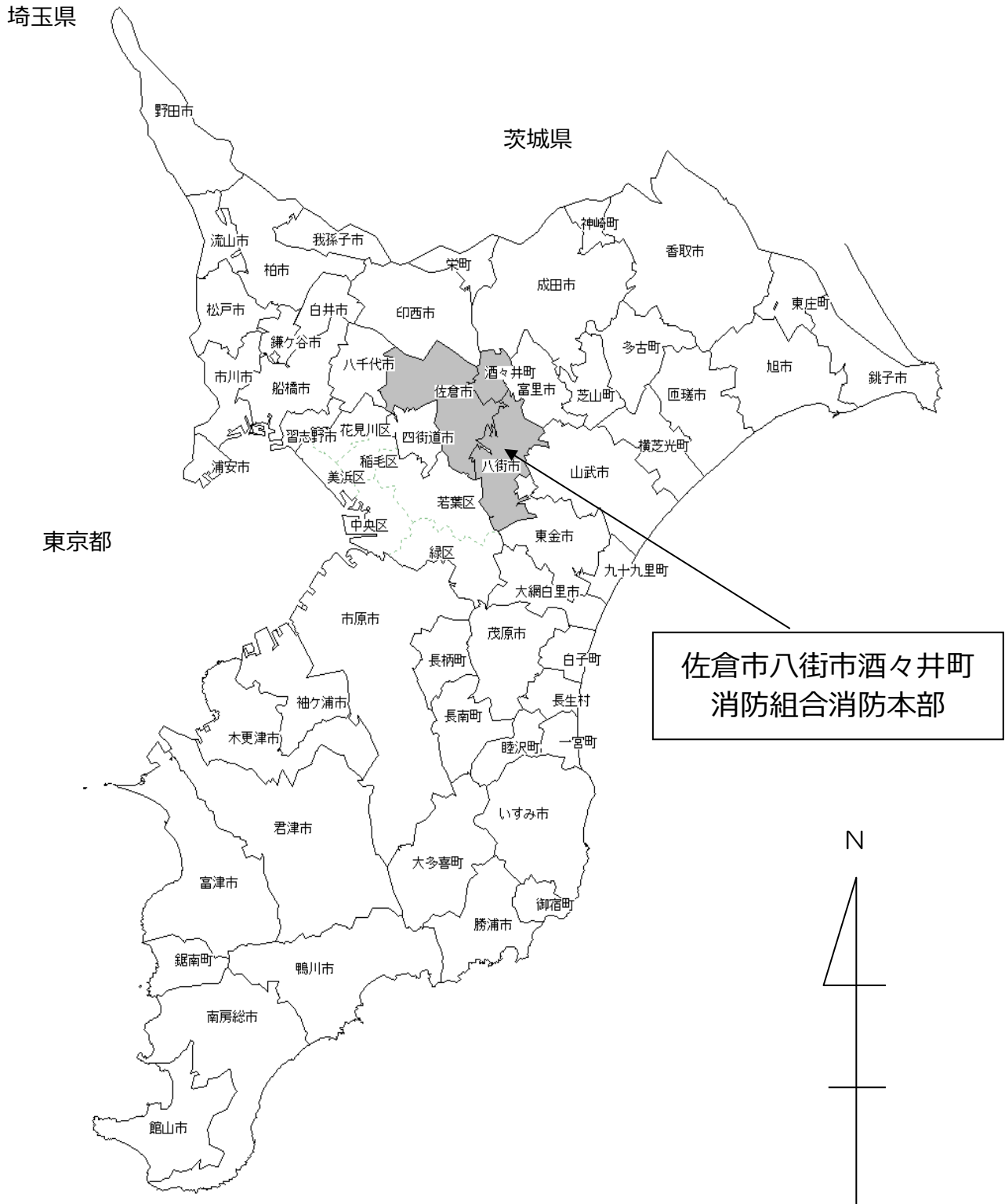
組合の概況	 <p><b>構成市町・面積</b></p>	 <p><b>人口</b></p>	 <p><b>世帯数</b></p>	 <p><b>予算</b></p>
	佐倉市 103.69 km <sup>2</sup> 八街市 74.94 km <sup>2</sup> 酒々井町 19.01 km <sup>2</sup> 計 197.64 km <sup>2</sup>	佐倉市 173,216 人 八街市 68,301 人 酒々井町 20,528 人 計 262,045 人	佐倉市 78,629 世帯 八街市 32,094 世帯 酒々井町 9,811 世帯 計 120,534 世帯	4,960,976 千円
組織・施設	 <p><b>本部・署所</b></p>	 <p><b>消防吏員</b></p>	 <p><b>消防団員数</b></p>	 <p><b>組合議会</b></p>
	消防本部 1(6課) 消防署 4 出張所 5	定員 395名 実員 391名	佐倉市 727 人 八街市 355 人 酒々井町 160 人 計 1,242 人	議員数 12 名 定例会 3 回
（非常用車両含む） 車両・水利	 <p><b>ポンプ車等</b></p>	 <p><b>特殊車等</b></p>	 <p><b>救急車</b></p>	 <p><b>消防水利</b></p>
	ポンプ車 20台 はしご車 2台 化学車 2台 救助工作車 2台 指揮車 6台	災害対応多目的車 1台 支援車 1台 小型動力ポンプ付水槽車 1台 空気充填車 1台 電源照明車 1台 津波・大規模風水害対策車 1台	高規格救急車 13台	佐倉市 2,602 基 八街市 1,764 基 酒々井町 508 基 計 4,874 基
災害の状況	 <p><b>火災件数</b></p>	 <p><b>出火原因</b></p>	 <p><b>救急件数</b></p>	 <p><b>救助件数</b></p>
	佐倉市 56 件 八街市 24 件 酒々井町 5 件 計 85 件	1位 放火（疑い含む） 15件 2位 たき火 14件 3位 電灯・電話等の配線 7件	佐倉市 7,454 件 八街市 3,635 件 酒々井町 887 件 計 11,976 件	佐倉市 92 件 八街市 44 件 酒々井町 13 件 計 149 件
通信・予防・広報	 <p><b>119番受信状況</b></p>	 <p><b>防火対象物数</b></p>	 <p><b>危険物施設数</b></p>	 <p><b>消防音楽隊</b></p>
	災害受信 11,400 件 その他受信 3,695 件 （災害以外の通報を示す） 計 15,095 件	佐倉市 2,937 棟 八街市 1,494 棟 酒々井町 539 棟 計 4,970 棟	佐倉市 222 施設 八街市 168 施設 酒々井町 48 施設 計 438 施設	隊員数 24 人 出演回数 1 回 （令和2年度）



## 消防組合の位置

佐倉市八街市酒々井町消防組合は、千葉県北部に位置し、印旛沼を始めとして豊かな自然に囲まれ、県都千葉市に12km、また首都東京に50kmの位置にある。

管内の中央部をJR東日本総武本線が縦走し、同成田線、京成電鉄本線、国道51号線及び東関東自動車道が横断している。



## 消防組合の沿革

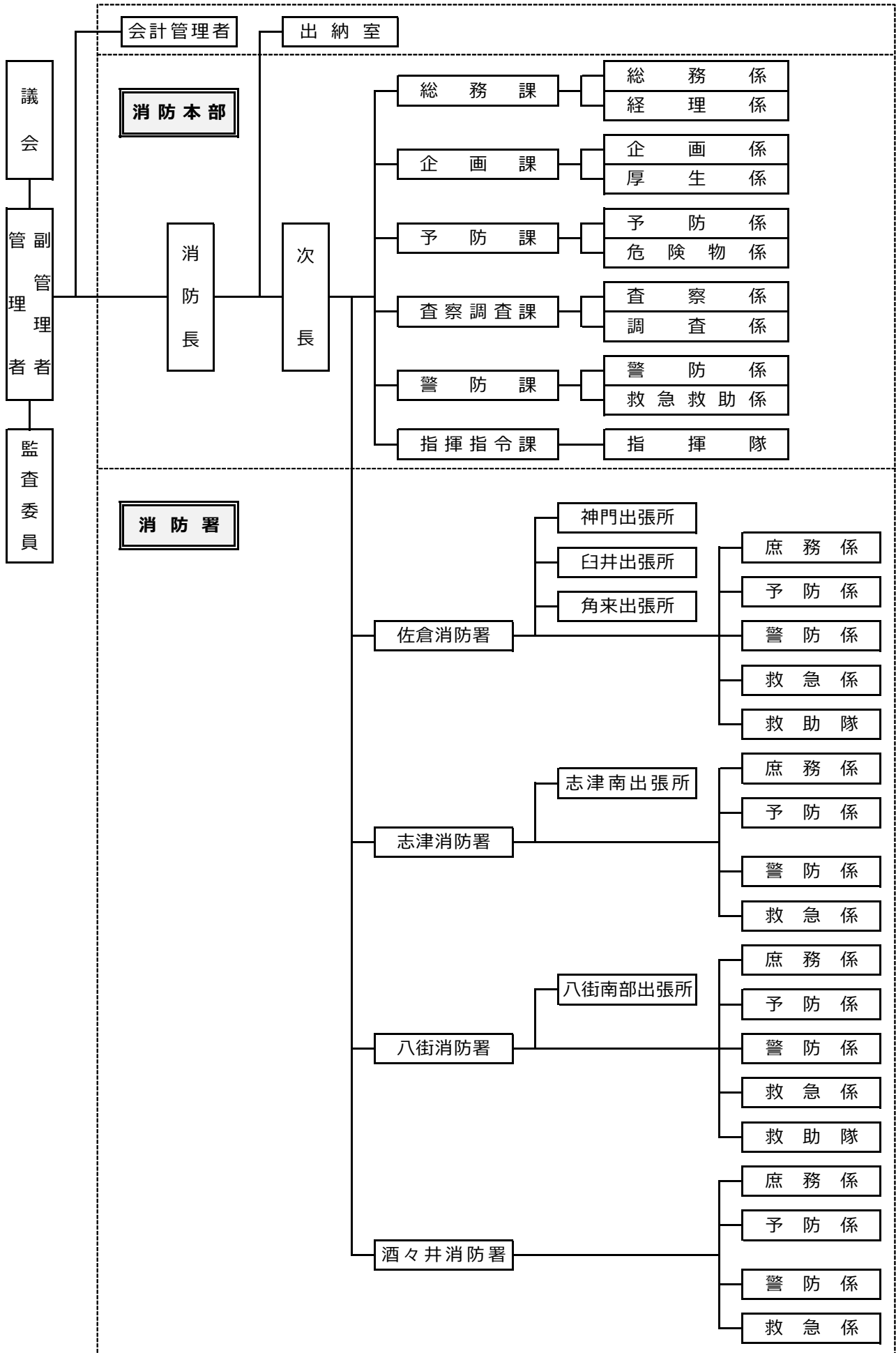
- 昭和46. 9. 6 千葉県指令2001号をもって「佐倉市・酒々井町・八街町」の1市2町による消防組合が千葉県知事より設立許可される。
- 昭和47. 4. 1 佐倉市外二町消防組合が発足し、組織を消防本部、消防署、消防署志津分遣所、消防署八街分署とする。  
消防職員定数113名（消防吏員110名、その他の職員3名 計113名）及び消防ポンプ自動車4台、水槽付消防ポンプ自動車1台、化学消防ポンプ自動車1台、救急自動車4台配置  
八街町役場内に救急自動車1台及び職員7名を配置し、救急業務開始  
消防団は、佐倉市消防団（定員812名）のみ加入
- 昭和47.12. 1 八街分署を開設し、消防吏員19名及び水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台配置
- 昭和48. 6. 1 酒々井町役場内に職員7名及び救急自動車1台を配置し、救急業務開始
- 昭和48. 6.26 千葉県共済農業協同組合連合会より救急自動車1台の寄贈を受け消防署に配置
- 昭和49. 1.23 井野出張所を開設し、消防吏員8名及び水槽付消防ポンプ自動車1台配置
- 昭和49. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員120名、その他の職員3名 計123名
- 昭和49. 8. 1 酒々井分署を開設し、消防吏員15名及び水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台配置
- 昭和49. 8. 7 はしご付消防ポンプ自動車（30m級）1台を消防署に配置
- 昭和49.10.10 消防本部に救急指令装置 B 型を導入し、通信網の整備と業務の円滑化を図る
- 昭和49.10.17 消防本部、消防署庁舎の竣工に伴い、佐倉市角来1730番地に移転
- 昭和50. 5.19 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、酒々井分署に配置
- 昭和50. 7.12 救援車 1 台を消防署に配置
- 昭和50.10.29 はしご付消防ポンプ自動車（18m級）1台を志津分遣所に配置
- 昭和50.12. 6 消防ポンプ自動車 1 台を八街分署に配置
- 昭和51. 3. 5 水槽付消防ポンプ自動車1台を志津分遣所に配置
- 昭和52. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員138名、その他の職員3名 計141名
- 昭和52.12. 2 八街南部出張所を開設し、消防吏員10名及び水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台配置
- 昭和53. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員148名、その他の職員3名 計151名
- 昭和54. 2.25 神門出張所を開設し、消防吏員10名及び化学消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台配置
- 昭和54. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員161名、その他の職員3名 計164名
- 昭和56. 1.20 神門出張所に訓練塔を設置
- 昭和56. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員173名、その他の職員3名 計176名
- 昭和56. 8.16 消防職員定数改正 消防吏員173名、その他の職員6名 計179名
- 昭和56.10.31 日本防火協会より佐倉市外二町防火協会へ広報車 1 台の寄贈を受ける。
- 昭和57. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員196名、その他の職員6名 計202名
- 昭和57.12.27 現場指揮統制車1台を消防本部に配置
- 昭和58. 3.28 先行車 1 台を神門出張所に配置
- 昭和58. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員212名、その他の職員6名 計218名
- 昭和58.12.10 無線電話車 1 台を消防本部に配置
- 昭和58.12.22 志津分署を開設し、消防吏員23名及び水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、先行車1台配置  
これに伴い井野分遣所を廃止し、志津分遣所を志津南出張所に名称変更

- 昭和59. 2. 1 佐倉市外二町消防組合消防音楽隊発足
- 昭和59. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員234名、その他の職員6名 計240名
- 昭和59. 5.30 普通貨物車 1 台を消防本部に配置
- 昭和60. 1. 8 先行車 1 台を消防本部に配置
- 昭和60. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員253名、その他の職員6名 計259名
- 昭和61. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員269名、その他の職員6名 計275名
- 昭和62. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員278名、その他の職員6名 計284名
- 昭和63. 3.31 乗用車 1 台、現場指揮車 1 台を消防本部に配置
- 昭和63. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員287名、その他の職員6名 計293名
- 平成 元. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員294名、その他の職員6名 計300名
- 平成 元. 5.26 移動整備車1台を消防署に配置
- 平成 元.10.29 職員の勤務時間改正（4週6休制実施）
- 平成 元.12.25 八街町より水槽付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、八街分署に配置
- 平成 2.10.22 水槽付小型動力ポンプ積載車1台を消防署に配置
- 平成 2.11.30 空気充填車1台を志津分署に配置
- 平成 2.12.14 穴倉隆氏より救急自動車1台、連絡車2台の寄贈を受け、消防本部・消防署に配置
- 平成 2.12.25 資機材搬送車 1 台を消防署に配置
- 平成 3. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員298名、その他の職員6名 計304名
- 平成 4. 4. 1 八街市の市制施行に伴い、消防組合の名称変更  
佐倉市外二町消防組合から佐倉市八街市酒々井町消防組合に名称変更  
機構改革  
消防本部に企画課・通信指令課を設置し、署（所）の名称を佐倉消防署・佐倉消防署  
志津分署・佐倉消防署志津南出張所・佐倉消防署神門出張所・八街消防署・八街消  
防署八街南部出張所・酒々井消防署に変更  
消防職員定数改正 消防吏員302名、その他の職員6名 計308名
- 平成 5. 4. 1 機構改革  
佐倉消防署志津分署を志津消防署に昇格、これに伴い佐倉消防署志津南出張所を志  
津消防署志津南出張所に変更  
佐倉市消防団に係る事務を佐倉市へ移管  
消防職員定数改正 消防吏員307名、その他の職員6名 計313名
- 平成 6. 3.24 佐倉消防署臼井出張所を開設し、消防吏員21名及び水槽付消防ポンプ自動車1台、消  
防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、先行車1台配置
- 平成 6. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員313名、その他の職員6名 計319名
- 平成 6. 5.26 連絡車1台を消防本部に配置
- 平成 7. 1.21 平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において、救助隊員8名を派遣  
～ 1.25
- 平成 7. 3. 1 志津消防署志津南出張所庁舎新築に伴い佐倉市中志津3丁目35番1号に移転
- 平成 7. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員319名、その他の職員6名 計325名
- 平成 7. 6. 9 連絡車 1 台を消防本部に配置
- 平成 8. 1. 1 職員の勤務時間改正（8週16休制実施）
- 平成 8. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員369名、その他の職員6名 計375名
- 平成 8.10. 1 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部消防職員委員会設置
- 平成 8.10.14 佐倉ライオンズクラブより連絡車1台の寄贈を受け、消防本部に配置
- 平成11. 1.27 化学車1台を八街消防署に配置

- 平成13. 1.23 緊急消防援助隊へ登録
- 平成13. 4. 1 国際消防援助隊へ登録
- 平成14. 3. 4 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台を佐倉消防署に配置
- 平成14. 3. 6 災害対応特殊消防ポンプ自動車1台を佐倉消防署に配置
- 平成14. 3. 7 先行車1台を佐倉消防署に配置
- 平成14. 3. 8 災害対応特殊救急自動車1台を佐倉消防署臼井出張所に配置
- 平成14. 3.25 消防本部及び佐倉消防署庁舎新築に伴い佐倉市大蛇町281番地に移転  
消防本部に消防吏員62名、その他の職員3名及び現場指揮車1台、先行車1台、査察車1台、連絡車5台、広報車1台、乗用車2台、マイクロバス1台、普通貨物車1台、移動整備車1台配置  
佐倉消防署に消防吏員62名及び先行車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車2台、化学消防ポンプ自動車1台、水槽付小型ポンプ積載車1台、水槽車（5,000ℓ）1台、救助工作車1台、はしご付消防自動車1台、空気充填車1台、資機材搬送車1台、高規格救急自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台配置  
佐倉消防署角来出張所を開設（旧消防本部・佐倉消防署庁舎）し、消防吏員23名及び水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、先行車1台配置
- 平成14.12.16 災害対応特殊救急自動車1台を志津消防署に配置
- 平成15. 4. 1 機構改革 消防本部予防課を予防課と査察調査課に分離
- 平成15. 6.30 ボートトレーラー1台を佐倉消防署に配置
- 平成15. 8. 4 八街消防署に第2救急隊（救急自動車）を配置
- 平成16. 2.27 八街消防署の第2救急隊を救急自動車から高規格救急自動車へ変更
- 平成18. 4. 1 佐倉消防署に第2救急隊（高規格救急自動車）を配置
- 平成18.12.22 電源照明車1台を佐倉消防署に配置
- 平成19. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員369名、その他の職員7名 計376名
- 平成20. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員370名、その他の職員6名 計376名
- 平成21. 3.16 救助工作車Ⅲ型1台を佐倉消防署に配置
- 平成21. 3.24 救助工作車Ⅱ型を佐倉消防署より八街消防署へ移動
- 平成23. 3.18 佐倉消防署角来出張所庁舎耐震改修工事竣工
- 平成23. 3.18 平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、緊急消防援助隊として15隊47名  
～ 5.11 を派遣
- 平成24. 4. 1 機構改革  
消防本部企画課及び査察調査課を廃止し、通信指令課を指揮指令課に名称変更
- 平成24. 6.22 八街消防署庁舎耐震改修及び増改築工事竣工
- 平成25. 2.28 八街消防署八街南部出張所庁舎耐震補強工事竣工
- 平成25. 4. 1 ちば消防共同指令センターにて通信指令業務の共同運用を開始
- 平成26. 3.20 支援車Ⅰ型1台を消防本部警防課へ配置
- 平成26. 3.31 連絡車1台を消防本部警防課へ配置
- 平成26. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員371名、その他の職員5名 計376名
- 平成26.11.19 屈折はしご付消防自動車1台を佐倉消防署に配置
- 平成27. 2. 1 高度救助隊を佐倉消防署に発足
- 平成27. 6.29 酒々井消防署庁舎耐震改修及び増改築工事竣工
- 平成27. 9.15 平成27年9月9日に発生した平成27年9月関東・東北豪雨災害において、緊急消防援助  
～ 9.17 隊として2隊9名を派遣

- 平成30. 4. 1 消防職員定数改正 消防吏員395名、その他の職員4名 計399名  
機構改革  
消防本部総務課を総務課と企画課に、消防本部予防課を予防課と査察調査課に分離
- 平成30. 9.25 佐倉消防署神門出張所庁舎改築工事竣工
- 令和 2. 3.25 津波・大規模風水害対策車 1 台（総務省消防庁より無償貸与）を消防本部警防課へ  
配置

# 消防組合の組織





# 消防本部・消防署の事務分掌

## 消防本部

総務	総務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 儀式、交際及び渉外に関すること。</li> <li>2 公印の管守に関すること。</li> <li>3 文書事務の総括に関すること。</li> <li>4 例規の制定改廃に関すること。</li> <li>5 職員の任免、服務及び試験に関すること。</li> <li>6 分限、懲戒及び表彰に関すること。</li> <li>7 組織、制度及び基本施策に関すること。</li> <li>8 職員の人事全般に関すること。</li> <li>9 給与及び旅費の支給に関すること。</li> <li>10 情報公開制度の総括に関すること。</li> <li>11 個人情報保護制度の総括に関すること。</li> <li>12 行政不服審査制度の総括に関すること。</li> <li>13 消防長会に関すること。</li> <li>14 組合議会に関すること。</li> <li>15 佐倉市、八街市及び酒々井町消防団との連絡に関すること。</li> <li>16 職員共済組合に関すること。</li> <li>17 職員の公務災害補償に関すること。</li> <li>18 その他の課に属さない事項に関すること。</li> <li>19 課の庶務に関すること。</li> </ul>
	経理係	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 予算、決算及び会計に関すること。</li> <li>2 予算の執行管理に関すること。</li> <li>3 財政計画の策定に関すること。</li> <li>4 組合債及び一時借入金に関すること。</li> <li>5 指定金融機関等の指定に関すること。</li> <li>6 補助金に関すること。</li> <li>7 基金の総括管理に関すること。</li> <li>8 入札及び契約に関すること。</li> </ul>
企画	企画係	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 組織、制度及び基本施策の企画調整に関すること。</li> <li>2 組合事務の総合調整に関すること。</li> <li>3 消防情報及び統計に関すること。</li> <li>4 広報企画及び公聴に関すること。</li> <li>5 監察に関すること。</li> <li>6 議会事務に関すること。</li> <li>7 監査委員事務に関すること。</li> <li>8 公有財産の取得、管理及び処分に関すること。</li> <li>9 庁舎の維持管理に関すること。</li> <li>10 庁舎の建築工事に関すること。</li> <li>11 電子情報システムの維持管理に関すること。</li> <li>12 工事等の監督及び検査に関すること。</li> </ul>
	厚生係	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 職員の福利厚生に関すること。</li> <li>2 職員の健康管理全般に関すること。</li> <li>3 物品の需給計画及び管理に関すること。</li> <li>4 貸与品に関すること。</li> <li>5 職員の教養及び研修に関すること。</li> <li>6 消防音楽隊に関すること。</li> <li>7 消防職員委員会に関すること。</li> <li>8 課の庶務に関すること。</li> </ul>

予 防 係	予 防 係	1 防火管理制度に関すること。 2 防災管理制度に関すること。 3 火災予防広報に関すること。 4 住宅防火対策に関すること。 5 火災予防普及啓発に関すること。 6 建築確認等の同意事務に関すること。 7 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。 8 火気使用設備及び電気設備等の火災予防措置に関すること。 9 防火対象物の使用開始の指導に関すること。 10 課の庶務に関すること。
		危険物係
査 察 調 査 係	査 察 係	1 消防対象物の査察及び違反処理に関すること。 2 査察技術の指導に関すること。 3 防火対象物定期点検報告制度の特例認定に関すること。 4 防災対象物定期点検報告制度の特例認定に関すること。 5 防災表示者登録申請及び重要文化財等の公開許可申請等に係る意見書に関すること。 6 旅館、ホテル等の営業許可等及び防火安全に係る適合通知等に関すること。 7 建設業附属寄宿舎及び風俗営業施設等に係る防火安全の推進に関すること。 8 危険物の性状判定試験に関すること。 9 違反対象物に係る公表制度に関すること。 10 防火基準表示制度に関すること。
		調査係
警 防 係	警 防 係	1 警防活動計画及び警防対策に関すること。 2 消防水利に関すること。 3 災害現場の支援に関すること。 4 消防相互応援に関すること。 5 消防訓練及び演習に関すること。 6 消防隊員の安全管理に関すること。 7 職員の教養及び訓練に関すること。 8 警防技術の研究及び指導に関すること。 9 災害指揮本部に関すること。 10 開発行為に関すること。 11 消防車両、機械器具等に関すること。 12 機関員の育成及び技能管理に関すること。 13 安全運転管理業務に関すること。 14 課の庶務に関すること。
		救急救助係

指揮指令課	指 揮 指 揮	1	災害現場の指揮、支援、安全管理等に関する事。
		2	職員の現場活動訓練に関する事。
		3	災害現場の観察及び効果並びに評価に関する事。
		4	消防隊等の運用計画に関する事。
		5	消防通信の運用に関する事。
		6	災害時の出動指令に関する事。
	隊	7	災害状況の速報並びに関係機関への報告及び連絡に関する事。
		8	災害関係の情報の収集及び管理に関する事。
		9	火災警報等に関する事。
		10	気象情報の収集等に関する事。
		11	千葉県防災行政無線に関する事。
		12	通信機器に関する事。
		13	千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会に関する事。
		14	課の庶務に関する事。

## 消防署

消防署	消 防 係	1	公印の管守に関する事。
		2	予算に関する事。
		3	文書の收受、発送及び保存に関する事。
		4	職員の教養訓練及びサービスに関する事。
		5	職員の福利厚生に関する事。
		6	庁舎の維持管理及び物品の管理に関する事。
		7	消防統計に関する事。
		8	署の庶務に関する事。
		9	その他の係に属さない事項に関する事。
	防 係	1	予防査察に関する事。
		2	火災の調査に関する事。
		3	予防関係各種届出の受理及び処理に関する事。
		4	建築確認の同意に関する事。
		5	防火指導、訓練及び防火相談に関する事。
6		広報に関する事。	
7		り災証明に関する事。	
警 防 係	1	水火災等の警防に関する事。	
	2	警防計画の立案及び訓練、演習に関する事。	
	3	地利水利に関する事。	
	4	警防関係各種届出の受理及び処理に関する事。	
	5	開発行為の協議に関する事。	
	6	消防自動車の安全運転技術に関する事。	
	7	消防機器及び消防装備の点検整備に関する事。	
	8	消防機器の運用技術に関する事。	
救 急 係	1	救急に関する事。	
	2	救急資機材の維持管理に関する事。	
	3	救急技術の研究及び訓練に関する事。	
	4	救急統計に関する事。	
	5	救急搬送証明に関する事。	
救 助 隊	1	救助に関する事。	
	2	救助資機材の維持管理に関する事。	
	3	救助技術の研究及び訓練に関する事。	
	4	その他特命事項に関する事。	

出	1	予算に関すること。
	2	文書の收受、発送及び保存に関すること。
	3	職員の教養訓練及び服務に関すること。
	4	職員の福利厚生に関すること。
	5	庁舎の維持管理及び物品の管理に関すること。
	6	消防統計に関すること。
	7	予防査察に関すること。
	8	火災の調査に関すること。
	9	予防関係各種届出の受理及び処理に関すること。
	10	防火指導及び防火相談に関すること。
張	11	広報に関すること。
	12	水火災等の警防に関すること。
	13	警防計画の立案及び訓練、演習に関すること。
	14	地利水利に関すること。
	15	警防関係各種届出の受理及び処理に関すること。
	16	消防自動車の安全運転技術に関すること。
	17	消防機器及び消防装備の点検整備に関すること。
	18	消防機器の運用技術に関すること。
所	19	救急に関すること。
	20	救急資機材の維持管理に関すること。
	21	救急技術の研究及び訓練に関すること。
	22	救急統計に関すること。
	23	出張所の庶務に関すること。

## 消防庁舎の概要

### 消防本部・佐倉消防署



所在地	佐倉市大蛇町 2 8 1
建築年月日	平成14年3月12日
開設年月日	平成14年3月25日 (移転)
構造	① 本部・佐倉消防署庁舎：鉄骨鉄筋コンクリート造 4階5,164㎡ ② 防災備蓄倉庫及び調査分析室：鉄筋コンクリート造 平屋552㎡ ③ 車庫：鉄骨造平屋289㎡ ④ 危険物庫：鉄筋コンクリート造平屋10㎡
延床面積	6,015㎡
敷地面積	5,719㎡

### 佐倉消防署神門出張所



所在地	佐倉市神門 6 4 2 - 4
建築年月日	昭和54年2月17日 / 平成30年9月25日(改築)
開設年月日	昭和54年2月25日
構造	鉄骨造 2階
延床面積	797㎡
敷地面積	1,975㎡

### 佐倉消防署臼井出張所



所在地	佐倉市染井野 3 - 1 - 5
建築年月日	平成6年3月22日
開設年月日	平成6年3月24日
構造	鉄筋コンクリート造 2階 (一部訓練塔併設 5階)
延床面積	995㎡
敷地面積	1,634㎡

### 佐倉消防署角来出張所



所在地	佐倉市角来 1 7 3 0
建築年月日	昭和49年10月11日
開設年月日	平成14年3月25日 (旧消防本部・佐倉消防署庁舎)
構造	鉄筋コンクリート造 2階
延床面積	975㎡
敷地面積	2,243㎡

志津消防署



所在地	佐倉市ユ-カリが丘1-1-28
建築年月日	昭和58年12月19日
開設年月日	昭和58年12月22日
構造	鉄筋コンクリート造2階
延床面積	613㎡
敷地面積	1,650㎡

志津消防署志津南出張所



所在地	佐倉市中志津3-35-1
建築年月日	平成7年2月24日
開設年月日	平成7年3月1日(移転)
構造	鉄筋コンクリート造2階
延床面積	931㎡
敷地面積	1,462㎡

八街消防署



所在地	八街市八街ほ584-2
建築年月日	昭和47年11月30日/平成24年6月22日(増改築)
開設年月日	昭和47年12月1日
構造	① 事務室・車庫棟：鉄筋コンクリート造2階403㎡ ② 仮眠室・車庫棟：鉄骨造2階463㎡ ③ 食堂棟：鉄骨造平屋59㎡
延床面積	925㎡
敷地面積	977㎡

八街消防署八街南部出張所



所在地	八街市上砂48-20
建築年月日	昭和52年12月2日/平成25年2月28日(改修)
開設年月日	昭和52年12月2日
構造	① 庁舎：鉄骨造平屋219㎡ ② 車庫：プレハブ平屋15㎡ ③ 救急洗濯機置場：アルミ形材平屋4㎡
延床面積	238㎡
敷地面積	2,020㎡

酒々井消防署



所在地	印旛郡酒々井町上岩橋1168-1
建築年月日	昭和49年7月25日/平成27年6月24日(増改築)
開設年月日	昭和49年8月1日
構造	① 庁舎：鉄筋コンクリート造2階610㎡ ② 仮眠室・車庫棟：鉄骨造2階358㎡
延床面積	968㎡
敷地面積	1,311㎡

# 総 務 編

## <内 容>

◇ 構成市町の面積・人口・世帯数……………	21
◇ 現有消防力……………	21
◇ 消防予算（歳入・構成市町別分担金・歳出）……………	22
◇ 消防職員の定員及び実員……………	23
◇ 消防職員の勤続年数……………	23
◇ 消防職員の配置状況……………	24
◇ 消防職員の年齢構成……………	25





## 構成市町の面積・人口・世帯数

(令和3年4月1日現在)

市町別 区分	面積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)				世帯数 (世帯)	人口密度 1km <sup>2</sup> 当たり (人)
		男	女	総数	対前年比 較増減数		
計	197.64	130,512	131,533	262,045	△ 2,546	120,534	1,326
佐 倉 市	103.69	85,332	87,884	173,216	△ 1,479	78,629	1,671
八 街 市	74.94	34,979	33,322	68,301	△ 868	32,094	911
酒 々 井 町	19.01	10,201	10,327	20,528	△ 199	9,811	1,080

※外国人登録者含む。

## 現有消防力

(令和3年4月1日現在)

消 防 吏 員 388 人 一人当たり			消防ポンプ自動車 (化学車を含む) 常備消防保有ポンプ 19 台 一台当たり			救急自動車 11 台 一台当たり		
人 口	世帯数	面 積	人 口	世帯数	面 積	人 口	世帯数	面 積
人	世帯	km <sup>2</sup>	人	世帯	km <sup>2</sup>	人	世帯	km <sup>2</sup>
675	311	0.51	13,792	6,344	10.40	23,822	10,958	17.97

# 消防予算

## 歳入

(単位：千円)

科目	区分	令和3年度		令和2年度		比較 増減額	増減率 (%)
		予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
歳入合計		4,960,976	100.0	4,709,739	100.0	251,237	5.3
1	分担金及び負担金	4,319,159	87.1	4,419,230	93.8	△ 100,071	△ 2.3
2	使用料及び手数料	2,000	0.0	2,000	0.0	0	0.0
3	国庫支出金	1	0.0	29,638	0.6	△ 29,637	△ 100.0
4	県支出金	5,512	0.1	9,916	0.2	△ 4,404	△ 44.4
5	財産収入	1001	0.0	251	0.0	750	298.8
6	寄附金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7	繰入金	100,000	2.0	1	0.0	99,999	9,999,900.0
8	繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
9	諸収入	8,001	0.2	13,001	0.3	△ 5,000	△ 38.5
10	組合債	525,300	10.6	235,700	5.1	289,600	122.9

## 令和3年度 構成市町別分担金

(単位：千円)

区分	市町名	佐倉市	八街市	酒々井町	合計
		合計	2,643,113	1,206,720	469,326
一般 分担金	常備消防費	2,367,893	1,099,708	427,273	3,894,874
	分担率 (%)	60.79	28.24	10.97	100.00
特別 分担金	長期債償還	274,556	106,703	41,933	423,192
	庁舎建設費	664	309	120	1,093

## 歳出

(単位：千円)

科目	区分	令和3年度		令和2年度		比較 増減額	増減率 (%)
		予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
歳出合計		4,960,976	100.0	4,709,739	100.0	251,237	5.3
1	議会費	1,667	0.0	1,256	0.0	411	32.7
2	総務費	2,628	0.1	2,576	0.1	52	2.0
	(1) 総務管理費	2,514	0.1	2,467	0.1	47	1.9
	(2) 監査委員費	114	0.0	109	0.0	5	4.6
3	消防費	4,531,489	91.3	4,257,859	90.4	273,630	6.4
	(1) 常備消防費	4,293,196	86.5	4,215,247	89.5	77,949	1.9
	(2) 庁舎建設費	238,293	4.8	42,612	0.9	195,681	459.2
4	公債費	423,192	8.6	446,048	9.5	△ 22,856	△ 5.1
5	予備費	2,000	0.0	2,000	0.0	0	0.0

## 消防職員の定員及び実員

(令和3年4月1日現在)

区分	階級	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計	その他の職員
定員		399	階級別内訳なし								395	4 (注1)
実員		391	1	12	29	123	97	52	2	72	388	3 (注2)

(注1) その他の職員には、佐倉市併任職員4名を含む。

(注2) その他の職員には、佐倉市併任職員3名を含む。

## 消防職員の勤続年数

(令和3年4月1日現在)

区分	階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
計		388	1	12	29	123	97	52	2	72	
1年未満		16								16	
1年以上～5年未満		45						2		43	
5年以上～10年未満		40						27		13	
10年以上～15年未満		39					19	18	2		
15年以上～20年未満		20				2	14	4			
20年以上～25年未満		43				15	27	1			
25年以上～30年未満		56			1	33	22				
30年以上～35年未満		38			4	26	8				
35年以上		91	1	12	24	47	7				

(注) 佐倉市併任職員3名を除く。

# 消防職員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

区分		階級	計	消防正監	消防副監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
合計			391	1	12	29	123	97	52	2	72	3
消防本部	小計		91	1	8	12	27	18	8		17	
	消防長		1	1								
	次長		2		2							
	参事		2		2							
	総務課		27		(1)	1	4	4	2		16	
	企画課		7		1	1	4	1				
	予防課		8		1	1	3	1	2			
	査察調査課		9		1	1	2	3	2			
	警防課		10		(1)	1	5	4				
	指揮指令課		25		1	7	9	5	2		1	
消防署	小計		297		4	17	96	79	44	2	55	
	佐倉消防署		58		1	3	20	15	13		6	
	神門出張所		22			1	7	8	2		4	
	臼井出張所		22			1	7	7	4		3	
	角来出張所		22			1	7	6	4		4	
	志津消防署		33		1	3	11	8	3		7	
	志津南出張所		36			1	12	11	4	1	7	
	八街消防署		50		1	3	15	11	7		13	
	八街南部出張所		22			1	5	7	4		5	
	酒々井消防署		32		1	3	12	6	3	1	6	
出納室 (佐倉市併任職員)		3										3

(注) ( ) は課長兼務

# 消防職員の年齢構成

(令和3年4月1日現在)

区分	階級	計	消	消	消	消	消	消	消	消	その他の職員
			防	防	防	防	防	防	防		
			正	監	司令	司令	司令	士	副	士	
			監	監	長	令	補	長	士	長	
合計		388	1	12	29	123	97	52	2	72	
平均		42.1	59.0	57.6	55.3	50.6	44.0	32.7	33.0	24.1	
18		2								2	
19		4								4	
20		6								6	
21		5								5	
22		8								8	
23		10								10	
24		6								6	
25		8						1		7	
26		10						1		9	
27		7						2		5	
28		4						1		3	
29		7						5		2	
30		10						8		2	
31		8						7	1		
32		3						2		1	
33		5						4		1	
34		6					2	3		1	
35		10					4	5	1		
36		13					7	6			
37		4					3	1			
38		8					4	4			
39		4				1	3				
40		5					5				
41		5					4	1			
42		8				2	6				
43		7				4	3				
44		14				5	9				
45		13				5	8				
46		22				12	10				
47		14				7	7				
48		18				11	6	1			
49		13				10	3				
50		10				9	1				
51		5			1	3	1				
52		8			2	4	2				
53		9			4	5					
54		18		1	3	12	2				
55		19			6	9	4				
56		11		1	2	7	1				
57		24		4	7	11	2				
58		7		1	3	3					
59		10	1	5	1	3					
60歳以上											

(注) 佐倉市併任職員3名を除く。



# 通信指令編

## <内 容>

◇ 消防通信概要	29
◇ 共同指令センターシステム構成図	30
◇ 消防組合システム構成機器一覧	32
◇ 無線電話施設の状況	34
◇ 通報受信状況	35
◇ 月別区分別 1 1 9 番受信状況（切断統計）	35
◇ 月別区分別火災指令状況	36
◇ 月別区分別救急指令状況	36
◇ 月別区分別救助指令状況	37
◇ 月別区分別その他指令状況	37
◇ 月別区分別災害通報受信状況	38
◇ 特殊通報の状況	38
◇ 口頭指導実施件数	39
◇ 1 1 9 情報登録の状況	39
◇ 年間の気象	40
◇ 過去 1 0 年間の気象	41
◇ 月別気象警報の状況	42





## 消防通信概要

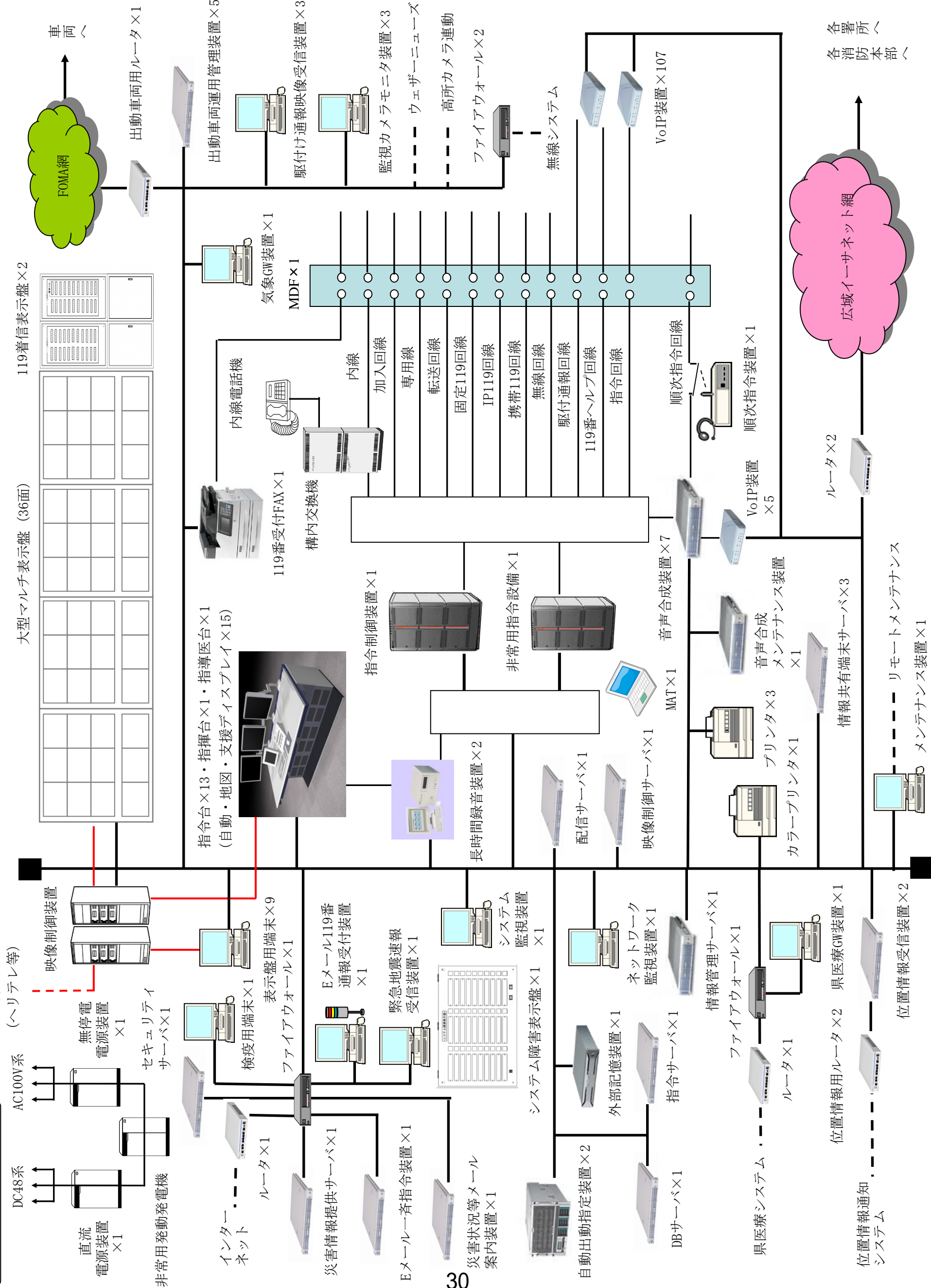
平成25年4月1日から、千葉市消防局内に設置した「ちば消防共同指令センター」において消防指令業務の共同運用及び消防救急デジタル無線の運用を開始した。

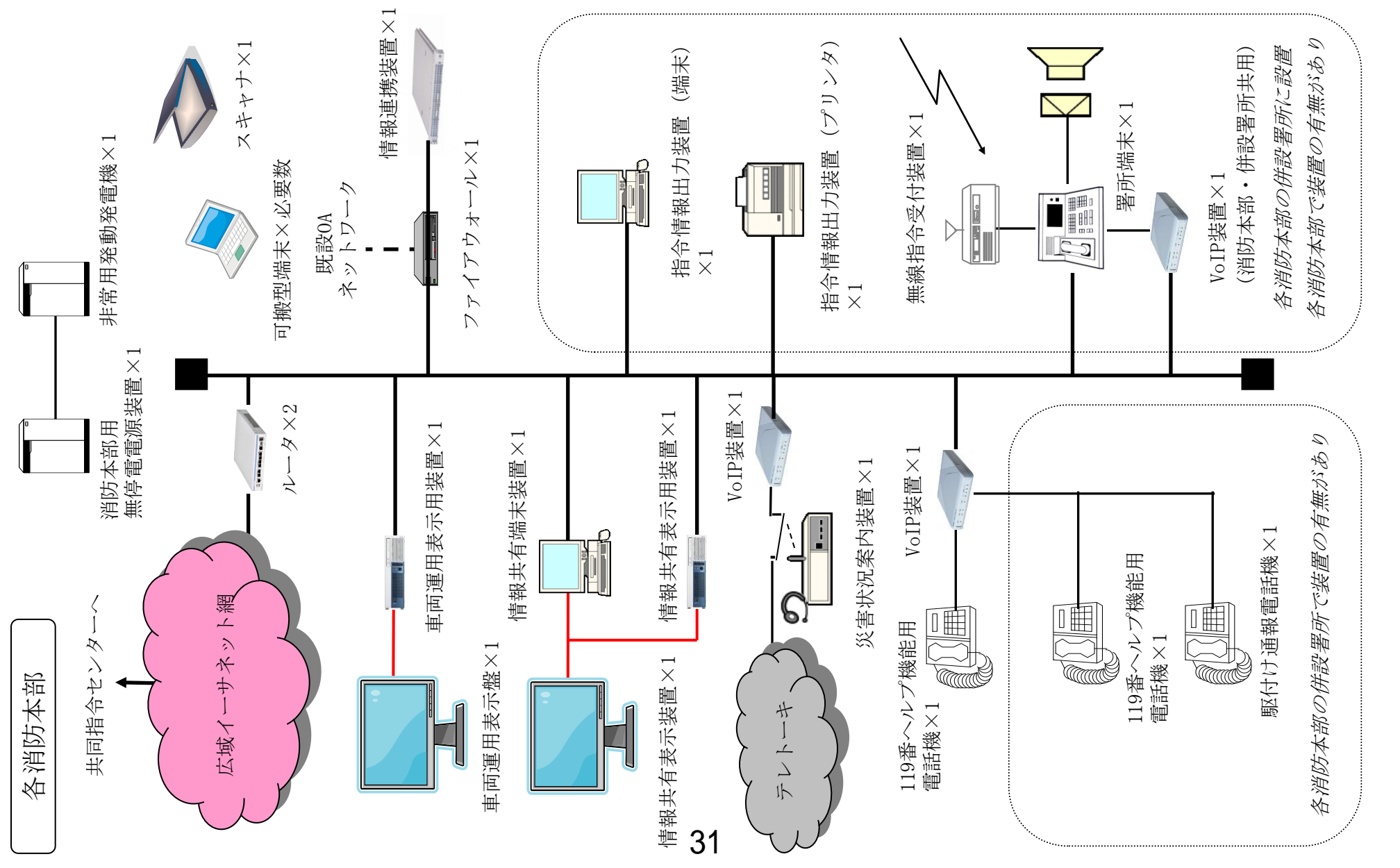
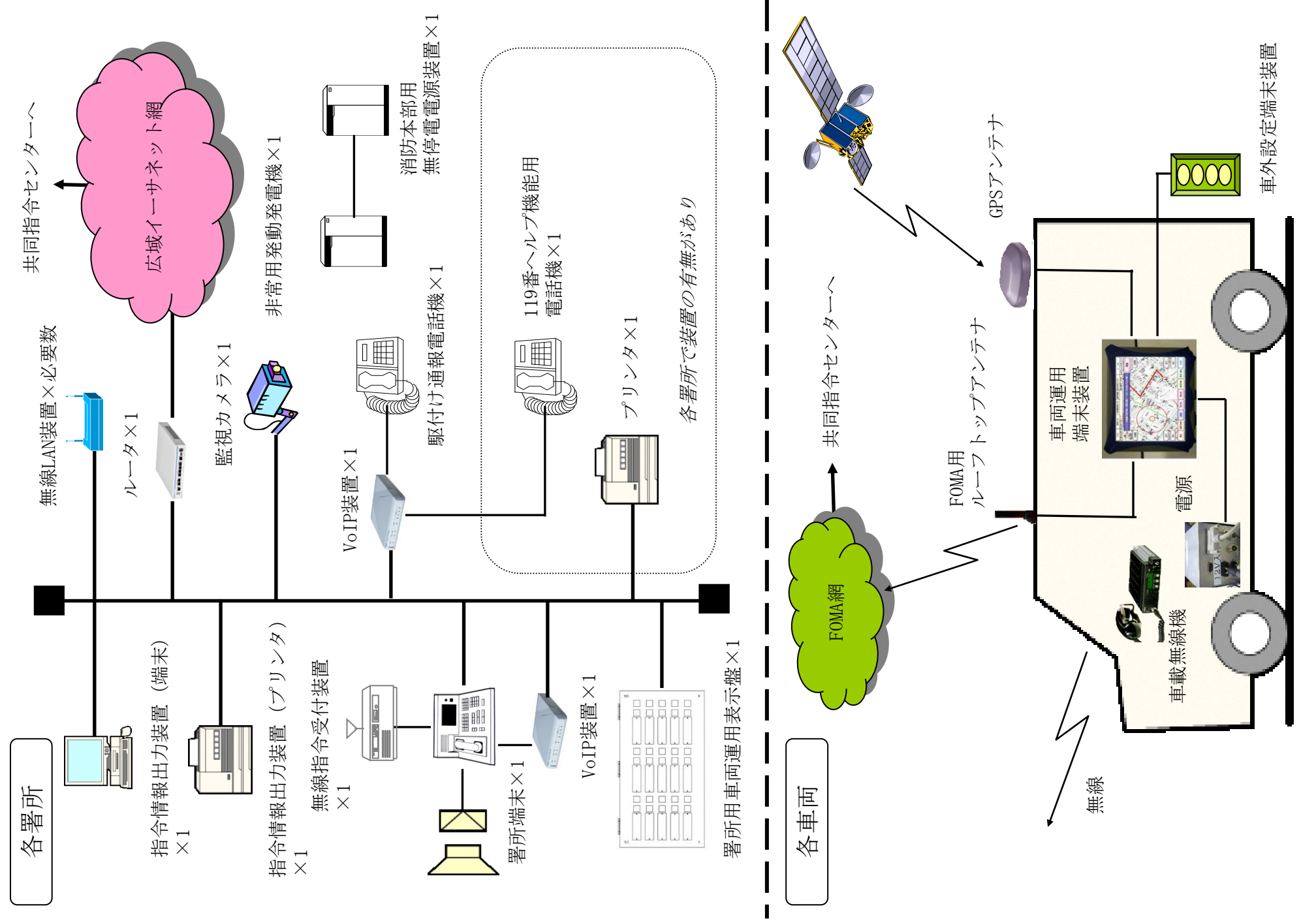
ちば消防共同指令センターにおいて、消防指令業務を共同で行うことで業務の効率化が図られ、各消防本部の連携及び情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模災害時の相互応援体制が充実強化された。

また、消防救急デジタル無線についても、千葉県域を一つとしたデジタル無線網を整備し、ちば消防共同指令センター及び消防本部間において運用を行っている。



# 共同指令センター システム構成図





## 消防組合システム構成機器一覧

項 目	内 訳	
	構 成 機 器	数 量
<b>消防本部設置設備</b>		
1 情報共有システム		
(1) 情報共有端末装置 (消防本部設備)	情報共有端末装置 (本体・ディスプレイ)	1 台
	小型スピーカ	1 台
(2) 情報共有表示装置 (消防本部設備)	65型ディスプレイ	1 台
	52型ディスプレイ	1 台
	60型ディスプレイ	1 台
	RGB分配器	1 台
	RGB切替器	1 台
	情報共有表示用装置	1 台
(3) 車両運用表示盤 (消防本部設備)	65型ディスプレイ	1 台
	車両運用表示用装置	1 台
(4) 119ヘルプ機能用電話機	119ヘルプ機能用電話機	2 台
2 消防本部用無停電電源装置	消防本部用無停電電源装置	1 台
3 消防OAシステム	情報連携装置 (コンソールユニットを含む)	1 台
4 災害状況等自動案内装置	災害状況等自動案内装置	1 台
5 可搬型端末装置	可搬型端末装置	1 台
6 指令装置	スキャナ	1 台
7 ネットワーク設備 (消防本部用)	アクセスルータ	2 台
	レイヤ2スイッチ	1 台
	ファイアウォール	1 台
8 その他	VoIP装置 (市町民案内用)	1 台
	VoIP装置 (119ヘルプ電話用)	1 台

項 目	内 訳	
	構成機器	数量
<b>署所設置設備</b>		
1 指令装置関係（指揮指令課含む。）		
(1) 署所端末装置	署所端末装置	10 台
(2) 無線指令受付装置	無線指令受付装置	10 台
(3) 駆付け通報装置		
ア 駆付け通報電話機	駆付け通報電話機	9 台
イ 監視カメラ	監視カメラ	9 台
2 指令情報出力装置（指揮指令課含む。）		
(1) 指令情報出力装置	指令情報出力装置（本体・ディスプレイ）	10 台
	指令情報出力装置（プリンタ）	10 台
	小型スピーカ	10 台
(2) プリンタ	プリンタ	1 台
3 電源設備		
	署所用無停電電源装置	9 台
4 車両運用表示盤（署所用）		
	車両運用表示盤（15 車両用）	1 台
	車両運用表示盤（8 車両用）	10 台
5 避雷装置		
(1) 高速電源避雷器（署所用）	高速電源避雷器（署所用）	9 台
(2) 高速回線避雷器（署所用）	高速回線避雷器（署所用）	1 台
6 ネットワーク設備（署所用）		
	アクセスルータ	8 台
	レイヤ2スイッチ	9 台
7 その他		
	V o I P 装置（指令回線用）	9 台
	V o I P 装置（駆付け通報装置用）	9 台
	無線 L A N 親機	12 台
<b>各車両に設置する設備</b>		
1 出動車両運用管理装置		
(1) 車両運用端末装置（Ⅲ型）	車両運用端末装置（Ⅲ型）	50 台
(2) " (Ⅱ型)	" (Ⅱ型)	7 台
(3) 車外設定端末装置	車外設定端末装置	52 台
(4) 車内設定端末装置	車内設定端末装置	8 台

# 無線電話施設の状況

## 1 デジタル無線

(令和3年4月1日現在)

無線局	区 分		呼出名称	局 数
遠隔制御器 (消防本部)	活動波	消防波 1～3	えんせい さくら しょうぼう	1
		救急波		
	主運用波	主運用波 1～7		
	統制波	統制波 1～3		
	近隣消防本部 活動波			

所属別		出力	消防本部			佐倉消防署	神門出張所	臼井出張所	角来出張所	志津消防署	志津南出張所	八街消防署	八街南出張所	酒々井消防署	計
			査察調査課	警防課	指揮指令課										
陸上移動局	車載型	5 W	2	4	2	13	4	4	6	5	5	6	4	5	60
	携帯型	5 W		1	8	8	3	3	3	5	5	6	3	4	49
	携帯型 (可搬)	5 W		1	2										3
	携帯型 (卓上)	5 W			1					1		1		1	4

## 2 アナログ無線

所属別		出力	消防本部			佐倉消防署	神門出張所	臼井出張所	角来出張所	志津消防署	志津南出張所	八街消防署	八街南出張所	酒々井消防署	計	
			査察調査課	警防課	指揮指令課											
移動局	署活系	署活動波 400MHz (関東共通波実装)	1 W		4	9	21	7	7	7	12	12	18	7	12	116

## 通報受信状況

令和2年中のちば消防共同指令センターにおける消防組合の月別区分別119番受信状況（切断統計）の総受信件数は15,095件で、1日平均41件の通報を受信した。災害による受信件数は、救急が最も多く9,961件で、火災が93件、救助が107件となっている。また、その他の災害（救急支援、危険排除、緊急確認等）による受信件数は1,239件で、その他（問合せ、照会、間違い、いたずら、通報訓練等）によるものは3,695件である。

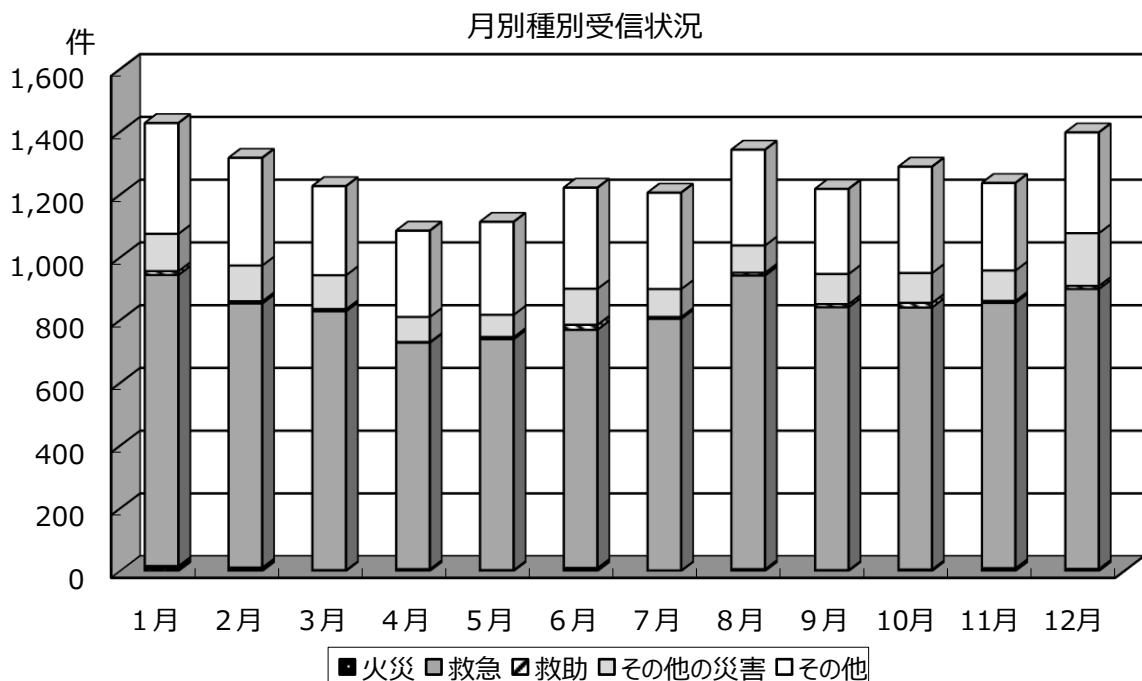
### 月別区分別 1 1 9 番受信状況（切断統計）

（令和2年中）

月別 区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火 災	93	17	12	4	7	4	11	3	7	4	6	10	8
救 急	9,961	928	842	825	722	736	759	802	936	838	835	846	892
救 助	107	12	7	7	2	7	16	6	9	10	15	6	10
そ の 他 の 災 害	1,239	119	114	108	80	71	115	89	87	96	95	97	168
そ の 他	3,695	353	343	284	275	296	322	307	305	271	339	279	321
計	15,095	1,429	1,318	1,228	1,086	1,114	1,223	1,207	1,344	1,219	1,290	1,238	1,399

※月別区分別119番受信状況（切断統計）とは、指令台で災害等の通報を報知専用回線を受信・切断した件数を計上したものの。

※救急：火災、救助、支援出動等で消防隊と同時出動している事案は件数に含まれていません。



## 指令統計

令和2年中、ちば消防共同指令センターで災害通報を受信し、通報内容に応じて消防組合へ出動のための指令を送出した件数は、12,996件であり、火災が175件、救急が10,663件、救助が174件、その他が1,984件である。

### 月別区分別火災指令状況

(令和2年中)

月別 区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建物	77	13	13	4	9	3	10	4	6	1	5	7	2
車両	28	3	1	8	1	2	4	1	3	1		2	2
林野	9	1	3		1		1		1			2	
船舶													
航空機													
その他	61	3	19	8	2	1	3	3	3	4	2	6	7
計	175	20	36	20	13	6	18	8	13	6	7	17	11

### 月別区分別救急指令状況

(令和2年中)

月別 区分	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
交通事故	655	62	58	49	35	37	73	73	50	48	61	58	51
一般負傷	1,709	141	122	139	112	127	120	131	161	143	167	180	166
加害	39	4		1	5	6	4	4	2	3	2	3	5
自損行為	60	2	5	8	2	9	3	4	3	9	5	3	7
急病	7,258	703	622	599	530	542	584	606	716	614	550	557	635
水難事故													
労働災害	93	7	7	7	11	9	4	6	8	8	4	13	9
運動競技	31	3	3	2	1		3	3	7	3	2	3	1
自然災害													
転院搬送	817	64	81	88	65	36	64	70	44	59	96	67	83
医師搬送	1									1			
資器材搬送													
その他													
計	10,663	986	898	893	761	766	855	897	991	888	887	884	957

※救急：火災、救助、支援出動等で消防隊と同時に指令が送出されている事案は件数に含まれていません。



## 月別区分別救助指令状況

(令和2年中)

区分 \ 月別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
普通	171	20	14	14	3	11	22	8	16	16	20	11	16
水難	3						1				2		
特別													
NBC災害													
多数傷病者													
計	174	20	14	14	3	11	23	8	16	16	22	11	16

※普通:救助活動及び救急活動が複合し人命救助活動を必要とする事案(水難、特別、NBC災害及び多数傷病者に分類されないもの)

※水難:水難事故が発生又は発生が予想される場合で人命救助活動を必要とする事案

※特別:大規模で局地的に、かつ、短時間に同時に10人程度以上の要救助者が発生又は発生が予想される場合で、大型油圧器具集中運用の必要性がある救助事案

※NBC災害:原因不明な異常臭気等放射性物質、生物剤、化学剤及び有毒ガス等が原因による救助事案

※多数傷病者:特別に該当する救助事案で大型油圧器具集中運用の必要性がない救助事案

## 月別区分別その他指令状況

(令和2年中)

区分 \ 月別	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
危険排除	137	14	18	10	11	5	5	4	10	9	28	15	8
緊急確認	280	13	21	20	18	23	27	15	37	15	20	31	40
風水害	3				2			1					
救急支援	1,503	138	141	132	107	90	126	115	119	119	123	111	182
他市応援	55	6	4	4	4	2	2	3	9	7	1	4	9
危険物													
その他	6		1			2		1	1			1	
計	1,984	171	185	166	142	122	160	139	176	150	172	162	239

※危険排除:火災、救助以外で放置すれば火災又は人命危険の発生が予想され、当該危険を排除するための活動を必要とする事案(「警戒出動」のための指令)

※緊急確認:災害か否かを緊急に確認しなければならない事案(「調査出動」、「偵察出動」のための指令)

※危険物:一般地域において、危険物等を取扱う施設又は危険物等を積載した車両から危険物等が漏洩又は飛散した事故事案

※指令統計は、ちば消防共同指令センターにおいて、災害通報等を覚知し、指令判断基準の災害種別及び区分に基づき災害出動指令を送出した統計であり、警防編「災害種別出動状況」「構成市町別救急活動状況」「構成市町別救助活動状況」とは異なります。

## 覚知種別統計

覚知種別統計とは、消防組合（ちば消防共同指令センターを含む）にて災害通報を受信した各種方法の統計である。

### 月別区分別災害通報受信状況

(令和2年中)

区分		月別												
		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1 1 9	固 定	2,375	243	222	218	175	158	208	183	192	170	215	186	205
	携 帯	8,002	735	669	612	583	590	666	673	730	660	680	653	751
	IP	4,515	433	411	385	324	336	354	331	402	366	386	371	416
加 入	固定/IP	164	11	15	11	9	8	19	14	20	13	13	12	19
	携 帯	46	3	2	3	4	4	4	5	7	2	3	4	5
警 察 電 話		364	34	35	26	22	28	38	33	39	33	20	27	29
駆 け っ け 通 報		132	9	6	6	18	10	13	24	12	10	7	6	11
自 己 覚 知		13	1	3	3	1	1	1		2			1	
そ の 他 ※		188	14	25	18	13	16	15	7	21	16	16	16	11
計		15,799	1,483	1,388	1,282	1,149	1,151	1,318	1,270	1,425	1,270	1,340	1,276	1,447

※「その他」の通報は、他市応援、高速道路会社等からの専用線による通報、無人の署所における駆けつけ通報装置からの通報、指令センター判断によるドクターヘリ要請等が含まれる。

### 特殊通報の状況

(令和2年中)

区分		月別												
		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火 災		3			1					1	1			
救 急		86	3	9	7	4	7	10	5	15	7	6	9	4
救 助		3		2	1									
そ の 他		22		1	2		2	5	3	4		3	1	1
計		114	3	12	11	4	9	15	8	20	8	9	10	5

※特殊通報：警備保障会社等の契約による代理通報、メール119通報、F A X 119通報

※令和2年中「代理通報」は111件、「メール119通報」は3件、「F A X 119通報」は0件

## 口頭指導実施件数

(令和2年中)

区分	計	心肺蘇生法	AED	止血・指跡 切断手当	固定処置	体位管理	その他
実施件数	1,197	477	3	542	1	118	56

※口頭指導：救急要請受信時に、消防機関が救急現場付近にある者に、電話等により 応急手当の協力を要請し、口頭で応急手当の指導を行うこと。

※資料提供：ちば消防共同指令センター

## 119情報登録の状況

登録状況

(令和3年4月1日現在)

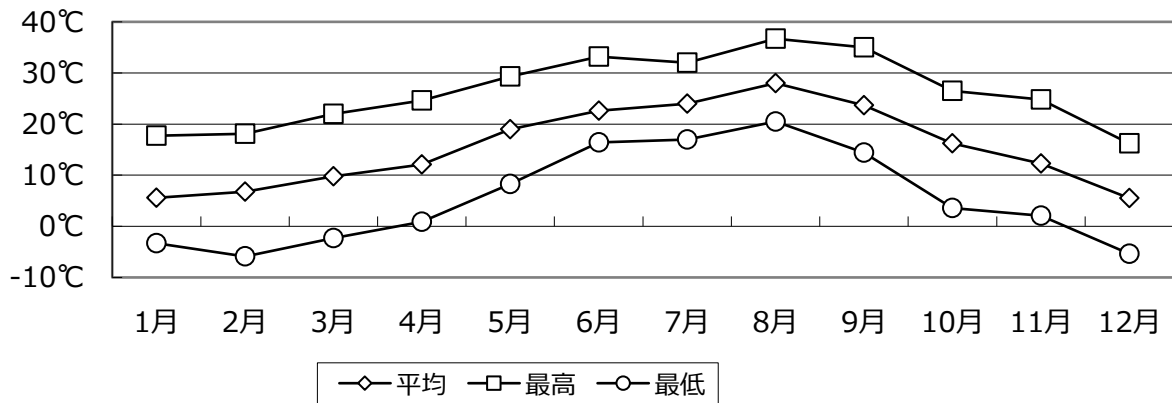
	計	佐倉市	八街市	酒々井町
登録者数	4,408	4,117	132	159

※119情報登録：消防組合緊急通報登録実施要領 第4条の規定による同居の家族がいない65歳以上または身体に重度の障害がある方などの登録

年間の気象  
月別気温状況

資料提供：気象庁HPより  
(令和2年中)

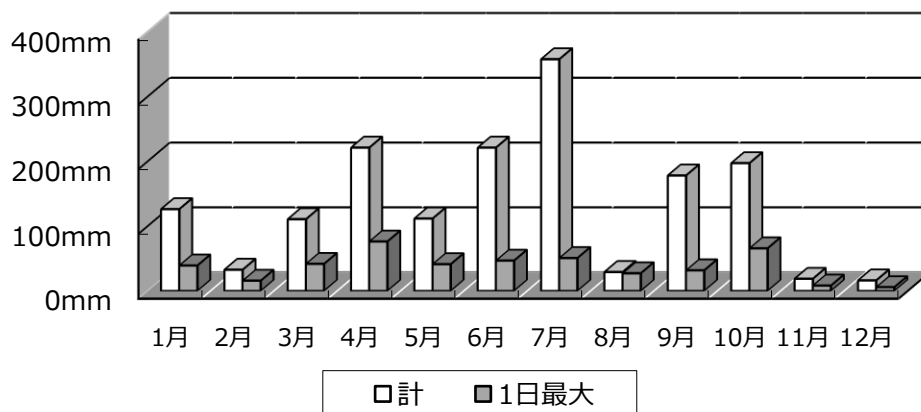
区分		月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温 ℃	平均	5.6	6.8	9.8	12.1	19.0	22.6	24.0	28.0	23.7	16.2	12.3	5.5
	最高	17.7	18.1	22.0	24.6	29.3	33.2	32.0	36.7	35.0	26.5	24.8	16.2
	最低	-3.3	-5.9	-2.3	0.9	8.3	16.4	17.0	20.5	14.4	3.6	2.1	-5.4



月別降水量

(令和2年中)

区分		月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量 mm	計	126.0	32.5	110.5	221.0	111.5	221.0	357.5	29.0	178.0	197.0	18.5	16.0
	1日最大	39.0	15.5	41.5	76.0	41.0	46.5	50.5	27.0	31.5	65.5	8.0	5.5



月別風向・風速

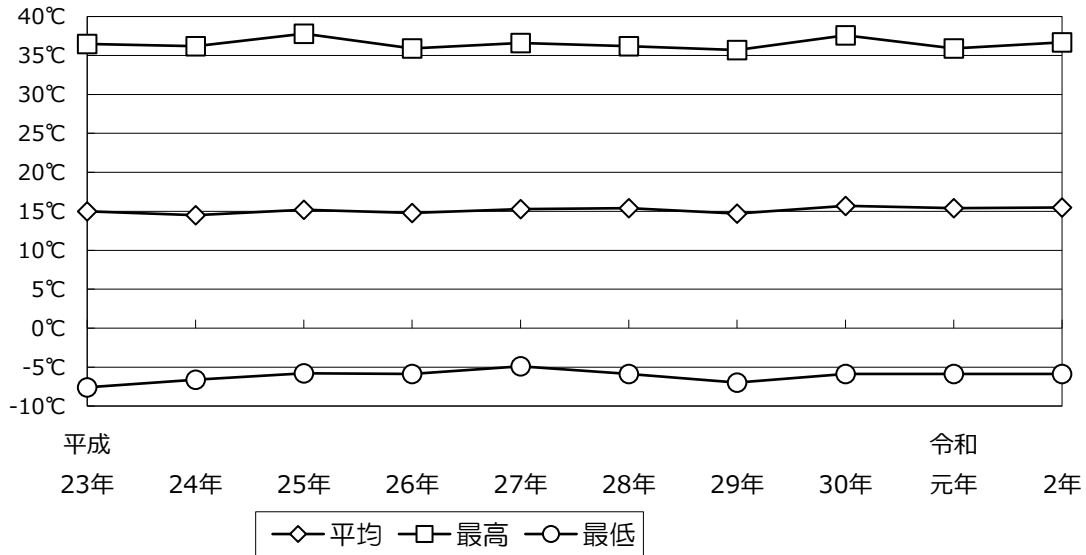
(令和2年中)

区分		月別											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
風向・風速 m	平均風速	1.8	2.1	3.0	3.0	3.0	2.7	3.4	2.2	3.0	2.3	1.8	1.6
	最大風速	9.7	10.7	10.8	15.7	11.0	10.4	13.6	8.6	10.0	8.3	8.9	6.9
	最大風向	北北東	北北東	南西	北北東	北北東	南南西	南南西	南西	南南西	北北東	南南西	北
	最大瞬間風速	15.3	16.7	20.4	25.9	18.3	18.5	25.8	14.6	19.8	12.8	15.5	13.9
	最大瞬間時風向	北北西	北北西	南南西	北北東	南西	南南西	南南西	南西	南西	北北東	南西	南西

# 過去10年間の気象 年別気温状況

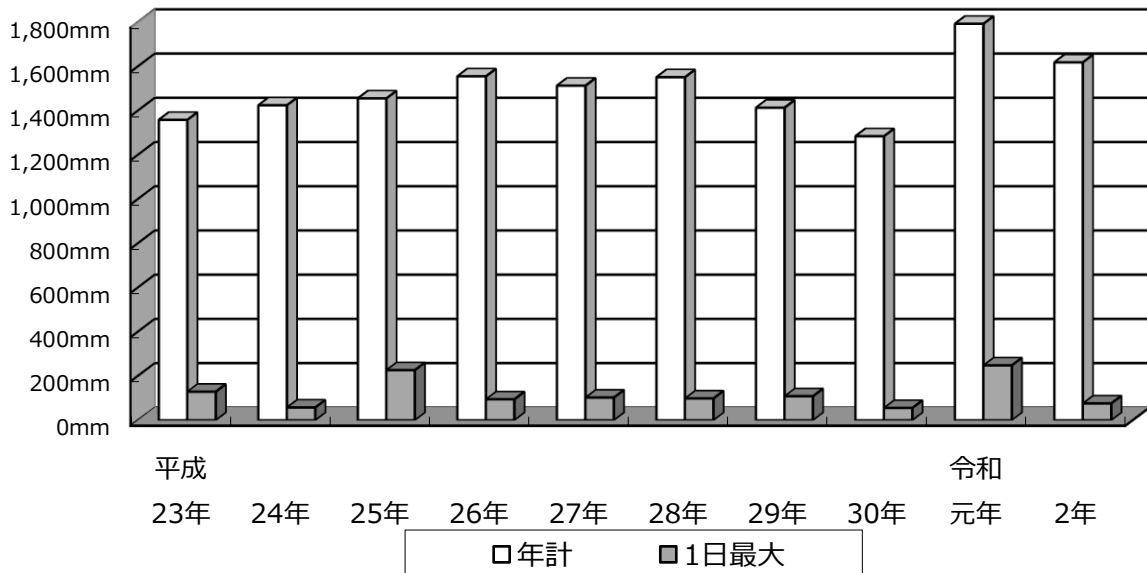
提供：気象庁HPより

区分		年別									
		平成 23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年
気温 ℃	平均	15.0	14.5	15.2	14.8	15.3	15.4	14.7	15.7	15.4	15.5
	最高	36.5	36.2	37.8	35.9	36.6	36.2	35.7	37.6	35.9	36.7
	最低	-7.6	-6.6	-5.8	-5.9	-4.9	-5.9	-7.0	-5.9	-5.9	-5.9



# 年別降水量

区分		年別									
		平成 23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和 元年	2年
降水量 mm	計	1,358.5	1,424.5	1,455.5	1,555.5	1,513.0	1,551.5	1,413.5	1,284.5	1,793.0	1,618.5
	1日最大	129.0	57.5	226.5	94.5	102.5	98.5	108.5	55.5	248.0	76.0



月別気象警報の状況

(令和2年中)

種別	月別												
	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
暴風													
暴風雪													
大雨	2	1						1					
洪水	3	1			1			1					
大雪													
計	5	2			1			2					

# 予 防 編

## <内 容>

◇ 防火対象物数	45
◇ 中高層建築物数	47
◇ 用途別中高層建築物数	47
◇ 建築関係事務処理状況	48
◇ 危険物施設数の推移（過去5年間）	49
◇ 危険物施設事務処理状況	49
◇ 防火対象物立入検査執行状況	50
◇ 危険物施設立入検査執行状況	52
◇ 各種届出受理状況	53





# 防火対象物数

(令和3年4月1日現在)

項別	区分	防火対象物の別	佐倉市	八街市	酒々井町	計
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3	1		4
	ロ	公会堂又は集会場	53	33	13	99
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場又はダンスホール	6	8		14
	ハ	性風俗関連店舗等				
	ニ	カラオケボックス等	5	3		8
3	イ	待合、料理店等				
	ロ	飲食店	122	54	18	194
4		百貨店、マーケット等	150	93	45	288
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	39	43	7	89
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	950	238	202	1,390
6	イ	(1)病院等（避難患者介助必要）		1	1	2
		(2)診療所等（避難患者介助必要）	4	1		5
		(3)病院及び有床診療所（避難患者介助不要）等	6	4		10
		(4)無床診療所等	35	15	3	53
	ロ	(1)老人短期入所施設等	45	41	5	91
		(2)救護施設				
		(3)乳児院		1		1
		(4)障害児入所施設				
		(5)障害者支援施設等	12	2	1	15
	ハ	(1)老人デイサービスセンター等	30	7	1	38
		(2)更生施設				
		(3)助産施設・保育所等	40	22	10	72
		(4)児童発達支援センター等	3	1		4
		(5)身体障害者福祉センター等	28	21	2	51
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	18	6	1	25

# 防火対象物数

(令和3年4月1日現在)

項別	区分		防火対象物の別			佐倉市	八街市	酒々井町	計
	7	小学校、中学校、高等学校等		116	44	11	171		
8	図書館、博物館、美術館等		11	1		12			
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等							
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4	1	2	7			
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		2	2	4	8			
11	神社、寺院、教会等		17	3	2	22			
12	イ	工場又は作業場	278	292	46	616			
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫又は駐車場	92	5	40	137			
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
14	倉庫		201	280	29	510			
15	前各項目に該当しない事業場		265	153	54	472			
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が1項～4項、5項イ、6項、9項イの用途に供されているもの	286	73	31	390			
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	105	45	9	159			
17	重要文化財等として指定され、又は重要美術品として認定された建造物		11		2	13			
計			2,937	1,494	539	4,970			

## 中高層建築物数

(令和3年4月1日現在)

階数別 市町別	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	17階	31階	計
	佐倉市	113	85	30	24	13	5	5	5	3	2	5	1	3
八街市	29	5	3	3										40
酒々井町	11	38	1	1							2			53
計	153	128	34	28	13	5	5	5	3	2	7	1	3	387

## 用途別中高層建築物数

(令和3年4月1日現在)

階数別 項別	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	17階	31階	計
	1	イ	1											
ロ		1												1
4	2													2
5	イ		1	1		1								3
	ロ	56	84	11	13	9	4	5	4	1	2	7	1	198
6	イ(3)	1		3	1									5
	ロ(1)	5	1		3									9
	ハ(1)	1	3											4
7	21	4			1									26
8		1		1										2
12	イ	4		2										6
13	イ	1	2											3
14		2	2											4
15		16	7	4										27
16	イ	31	21	6	9	3			1	2			2	75
	ロ	11	2	7	1									21
計	153	128	34	28	13	5	5	5	3	2	7	1	3	387

## 建築関係事務処理状況

### 同意事務処理状況

(令和2年度中)

区分	署別	佐倉消防署			志津消防署			八街消防署			酒々井消防署			計		
		計	指導有	指導無	計	指導有	指導無	計	指導有	指導無	計	指導有	指導無	計	指導有	指導無
同意件数		92	28	64	22	8	14	70	33	37	26	6	20	210	75	135
新築		86	26	60	21	7	14	67	30	37	25	5	20	199	68	131
増築		4	1	3				3	3					7	4	3
改築		1		1										1		1
移転																
修繕																
模様替																
用途変更		1	1		1	1					1	1		3	3	
その他																
消防本部処理		18			8			19			3			48		
不同意件数																

### 申請種類別処理状況

(令和2年度中)

区分	署別	佐倉消防署			志津消防署			八街消防署			酒々井消防署			計		
		受付	同意	不同意	受付	同意	不同意	受付	同意	不同意	受付	同意	不同意	受付	同意	不同意
確認申請(建築)		70	70		13	13		61	61		21	21		165	165	
確認申請(設備)																
計画通知		5	5											5	5	
計画変更		10	10		4	5		8	8		5	5		27	28	
許可申請		7	7		4	4		1	1					12	12	
合計		92	92		21	22		70	70		26	26		209	210	

※同意件数については前年度の受付分1件を含む。

### 仮使用申請処理状況

(令和2年度中)

区分	署別	佐倉消防署	志津消防署	八街消防署	酒々井消防署	計
		受付件数		4		
意見書交付件数		4				4
意見書の内容	適当	4				4
	条件付適当					
	不適当					

### 建築主事又は指定確認検査機関からの消防長又は消防署長への通知

(建築基準法第93条第4項の規定による)

(令和2年度中)

区分	署別	佐倉消防署	志津消防署	八街消防署	酒々井消防署	計
通知件数		240	223	231	62	756

## 危険物施設数の推移（過去5年間）

施設の区分		年度別				令和2年度市町別施設数			
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	計	佐倉市	八街市	酒々井町
製造所		6	7	7	7	7	6	1	
小計		6	7	7	7	7	6	1	
貯蔵所	屋内貯蔵所	62	62	65	66	71	50	16	5
	屋外タンク貯蔵所	47	49	47	46	47	21	23	3
	屋内タンク貯蔵所	3	3	3	3	3	1	2	
	地下タンク貯蔵所	86	84	81	78	74	37	26	11
	簡易タンク貯蔵所		1	1	1	1	1		
	移動タンク貯蔵所	79	83	77	72	74	21	46	7
	屋外貯蔵所	4	4	4	4	4	3		1
小計		281	286	278	270	274	134	113	27
取扱所	給油取扱所	98	100	98	100	100	50	35	15
	販売取扱所								
	一般取扱所	61	60	59	57	57	32	19	6
小計		159	160	157	157	157	82	54	21
合計		446	453	442	434	438	222	168	48

## 危険物施設事務処理状況

(令和2年度中)

施設の区分		許可		完成		仮使用
		設置	変更	設置	変更	
製造所			7		4	6
小計			7		4	6
貯蔵所	屋内貯蔵所	3	4	5	4	2
	屋外タンク貯蔵所	2		2		
	屋内タンク貯蔵所					
	地下タンク貯蔵所	1	3	1	3	
	簡易タンク貯蔵所					
	移動タンク貯蔵所	3	4	4	4	
	屋外貯蔵所					
小計		9	11	12	11	2
取扱所	給油取扱所		10	1	12	9
	販売取扱所					
	一般取扱所	2	8	2	9	3
小計		2	18	3	21	12
合計		11	36	15	36	20

防火対象物立入検査執行状況

(市町別棟単位)  
(令和2年度中)

区分 項別	防火対象物の用途	佐倉市		八街市		酒々井町		計		
		対象物数	執行件数	対象物数	執行件数	対象物数	執行件数	対象物数	執行件数	
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場	3		1				4		
	ロ 公会堂又は集会場	53	13	33	2	13	6	99	21	
2	イ キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等									
	ロ 遊技場又はダンスホール	6		8				14		
	ハ 性風俗関連店舗等									
	ニ カラオケボックス等	5		3				8		
3	イ 待合、料理店等									
	ロ 飲食店	122	7	54	1	18	4	194	12	
4	百貨店、マーケット等	150	13	93	2	45	2	288	17	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	39	11	43		7	16	89	27	
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	950	26	238	24	202	9	1,390	59	
6	イ	(1)病院等（避難患者介助必要）			1		1		2	
		(2)診療所等（避難患者介助必要）	4		1				5	
		(3)病院及び有床診療所（避難患者介助不要）等	6		4				10	
		(4)無床診療所等	35	1	15		3	1	53	2
	ロ	(1)老人短期入所施設等	45	2	41		5	2	91	4
		(2)救護施設								
		(3)乳児院			1				1	
		(4)障害児入所施設								
		(5)障害者支援施設等	12		2		1		15	
	ハ	(1)老人デイサービスセンター等	30	2	7		1		38	2
		(2)更生施設								
		(3)助産施設・保育所等	40		22		10		72	
		(4)児童発達支援センター等	3		1				4	
		(5)身体障害者福祉センター等	28		21		2		51	
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	18		6		1		25	

防火対象物立入検査執行状況

(市町別棟単位)  
(令和2年度中)

区分 項別	防火対象物の用途	佐倉市		八街市		酒々井町		計	
		対象物数	執行件数	対象物数	執行件数	対象物数	執行件数	対象物数	執行件数
7	小学校、中学校、高等学校等	116	11	44		11		171	11
8	図書館、博物館、美術館等	11		1				12	
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等								
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	4		1		2		7	
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	2		2		4		8	
11	神社、寺院、教会等	17	1	3		2		22	1
12	イ 工場又は作業場	278	32	292	15	46	6	616	53
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ 自動車車庫又は駐車場	92	2	5		40		137	2
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫								
14	倉庫	201	34	280	27	29	2	510	63
15	前各項目に該当しない事業場	265	33	153		54	2	472	35
16	イ 複合用途防火対象物のうち、その一部が1項～4項、5項イ、6項、9項イの用途に供されているもの	286	13	73		31	4	390	17
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	105	24	45	3	9	2	159	29
17	重要文化財等として指定され、又は重要美術品として認定された建造物	11				2		13	
計		2,937	225	1,494	74	539	56	4,970	355

危険物施設立入検査執行状況

(令和2年度中)

製造所等区分		市町別		佐倉市		八街市		酒々井町		計	
		施設数	執行件数	施設数	執行件数	施設数	執行件数	施設数	執行件数		
製造所		6		1						7	
貯蔵所	屋内貯蔵所	50	1	16	1	5				71	2
	屋外タンク貯蔵所	21	2	23	1	3				47	3
	屋内タンク貯蔵所	1		2						3	
	地下タンク貯蔵所	37	3	26		11				74	3
	簡易タンク貯蔵所	1								1	
	移動タンク貯蔵所	21	18	46	44	7	3			74	65
	屋外貯蔵所	3				1				4	
取扱所	給油取扱所	50	2	35	2	15				100	4
	第一種販売取扱所										
	第二種販売取扱所										
	移送取扱所										
	一般取扱所	32		19	1	6				57	1
計		222	26	168	49	48	3			438	78



各種届出受理状況

(令和2年度中)

項 目	届 出 等 の 別	件 数
防 火 管 理 関 係	防火管理者選解任届出	293
	統括防火管理者選任解任届出	2
	消防計画届出	338
	防火対象物全体の消防計画届出	3
	消防訓練通報	772
	防火対象物点検結果報告	85
防 災 管 理 関 係	防災管理者選解任届出	1
	統括防災管理者選任解任届出	
	消防計画届出	3
	防災管理対象物全体の消防計画届出	
	消防訓練通報	
	自衛消防組織設置届出	2
	防災管理対象物点検結果報告	4
消 防 用 設 備 関 係	消防用設備等着工届出	160
	消防用設備等工事計画届出	47
	消防用設備等設置届出	477
	基準の特例適用申請	41
	消防用設備等点検結果報告	1,581
危 険 物 関 係	資料提出	143
	譲渡引渡届出	7
	保安監督者選解任届出	45
	倍数変更届出	6
	予防規程認可申請	15
	仮貯蔵、仮取扱承認申請	8
	水圧、水張検査申請	3
	その他の届出	12
液 石 等 関 係	液化石油ガス、圧縮アセチレン等の届出	43
火 災 予 防 条 例 関 係	防火対象物使用開始届出	323
	少量危険物貯蔵取扱届出	28
	少量危険物貯蔵取扱廃止届出	14
	指定可燃物貯蔵取扱届出	15
	指定可燃物貯蔵取扱廃止届出	1
	炉、ボイラー等設置届出	43
	燃料電池、変電、発電、蓄電池設備設置届出	76
	禁止行為の解除承認申請	9
	露店等の開設届出	26
	ネオン管灯設備設置届出	
	水素ガスを充てんする気球の設置届出	
	火災とまぎらわしい行為の届出	110
	煙火打上げの届出	7
	道路工事の届出	335
	水道断減水の届出	4
	催物開催の届出	
指定洞道等の届出		
合 計		5,082



# 火 災 編

## <内 容>

◇ 火災の概要	57
◇ 火災発生状況	59
◇ 曜日別火災発生件数	60
◇ 覚知別火災発生件数	60
◇ 時間帯別火災発生件数	60
◇ 火災による死傷者の発生状況	61
◇ 火災による死傷者の推移（過去5年間）	61
◇ 出火率（人口1万人当たりの出火件数）（過去5年間）	61
◇ 建物火災用途別発生件数	62
◇ 発火源、経過、着火物分類状況	63
◇ 出火原因別発生件数（火災種別・月別全火災）	64
◇ 出火原因別発生件数（月別建物火災）	65
◇ 構成市町別火災の推移（過去5年間）	66
◇ り災状況の推移（過去5年間）	67
◇ 出火原因別発生件数の推移（全火災：過去5年間）	68
◇ 出火原因別発生件数の推移（建物火災：過去5年間）	69
◇ 火災原因調査・鑑識用機（器）材保有状況	70



## 火災の概要

### 1 出火件数

令和2年中における出火件数は、85件であり、前年と比較すると2件（2.4%）の増加である。

この出火件数を火災種別ごとにみると、建物火災は42件で全体の49.4%を占め、前年と比較すると6件（16.7%）の増加である。

林野火災は、3件で全体の3.5%を占め、前年と比較すると2件（40.0%）の減少である。

車両火災は、9件で全体の10.6%を占め、前年と比較すると1件（10.0%）の減少である。

その他の火災は、31件で全体の36.5%を占め、前年と比較すると1件（3.1%）の減少である。

構成市町別では、佐倉市が56件で、全体の65.9%を占め、前年と比較すると16件（40%）の増加である。

八街市は24件で、全体の28.2%を占め、前年と比較すると12件（33.3%）の減少である。

酒々井町は5件で、全体の5.9%を占め、前年と比較すると2件（28.6%）の減少である。

### 2 出火率

出火率（人口1万人当りの出火件数）は3.2件である。構成市町別にみると、佐倉市が3.2件、八街市が3.5件、酒々井町が2.4件である。

### 3 焼損棟数及び焼損面積等

焼損棟数は71棟で、前年と比較して21棟（42.0%）の増加となっており、建物焼損床面積は903㎡で、建物焼損表面積は99㎡である。

前年と比較して建物焼損床面積は393㎡（30.3%）減少し、建物焼損表面積は21㎡（17.5%）の減少である。

焼損程度別でみると、全焼は21棟で前年と比較して5棟の増加、半焼は4棟で前年と同棟数、部分焼は15棟で6棟の増加、ぼやは31棟で10棟の増加である。

### 4 損害額

損害額は80,582千円であり、前年の137,828千円と比較して57,246千円（41.5%）の減少である。建物火災1件当りの損害額は1,628千円であり、前年と比較して1,239千円（43.2%）の減少である。

### 5 死傷者数

火災による死者は2人で、前年と比較すると1人の増加である。構成市町別では、佐倉市が1人、八街市が1人である。

火災による負傷者は16人であり、前年と同人数である。構成市町別では、佐倉市が

12人、八街市が3人、酒々井町が1人であり、受傷原因の状況別では、避難中5人、消火中6人、作業中3人、その他2人となっている。

## 6 建物用途別発生状況

建物火災42件を用途別にみると、住宅が19件（全体の45.2%）で最も多く、次いで工場が8件（同19.0%）、共同住宅等が4件（同9.5%）、非特定複合が2件（同4.8%）、飲食店、社会福祉施設、駅、駐車場、倉庫、事務所がそれぞれ1件（同各2.4%）、その他が3件（同7.1%）である。

## 7 被災世帯及び被災人員

被災世帯は41世帯であり、前年と比較すると18世帯（78.3%）の増加である。

内訳は、全損10世帯、半損2世帯、小損29世帯となっている。

被災人員は90人であり、前年と比較して36人（66.7%）の増加である。

## 8 出火原因

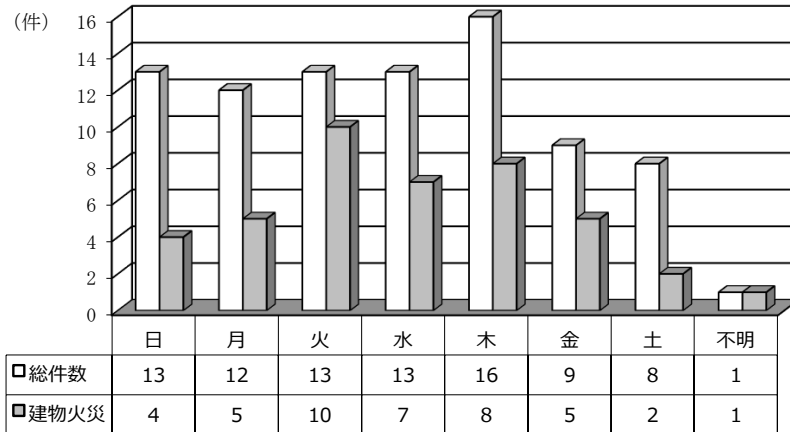
出火原因別でみると、放火（放火の疑い含む。）が15件（全体の17.6%）で最も多く、次いでたき火が14件（同16.5%）、電灯・電話等の配線が7件（同8.2%）、こんろが6件（同7.1%）、たばこ、電気機器がそれぞれ5件（同各5.9%）、ストーブ、焼却炉がそれぞれ4件（同各4.6%）、電気装置、溶接・溶断機、灯火、取灰がそれぞれ2件（同各2.4%）、マッチ・ライター、配線器具、炉、ボイラー、排気管がそれぞれ1件（同各1.2%）、その他が8件（同9.4%）、不明・調査中が4件（同4.6%）である。

建物火災についてみると、こんろが6件（全体の14.2%）で最も多く、次いで放火（放火の疑い含む。）が5件（同11.9%）、ストーブ、電気機器がそれぞれ4件（同各9.5%）、たき火、焼却炉がそれぞれ3件（同各7.1%）、たばこ、電灯・電話等の配線、灯火がそれぞれ2件（同各4.8%）、マッチ・ライター、配線器具、炉、ボイラー、電気装置がそれぞれ1件（同各2.4%）、不明・調査中が2件（同4.8%）、その他が4件（同9.5%）である。



## 曜日別火災発生件数

(令和2年中)



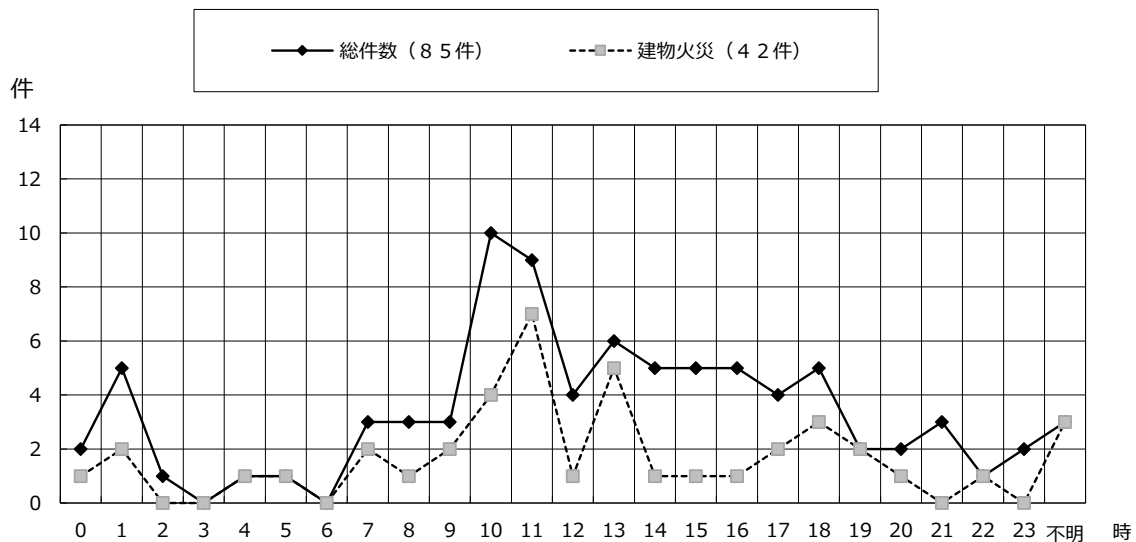
## 覚知別火災発生件数

(令和2年中)

覚知別	区別	火災種別						計	月別											
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計		42	3	9			31	85	9	10	4	8	6	7	5	8	2	6	10	10
火災報知専用(N T T 加入以外)		4		1			3	8	1	2	1	2	1					1		
火災報知専用(N T T 加入)		4					1	5	1	2				1				1		
火災報知専用(携帯)		16	3	5			21	45	2	5	1	3	5	3	2	6	1	3	7	7
一般加入(固定)																				
一般加入(携帯)		1						1												1
警察電話				1			1	2				1								1
駆け付け通報				1				1	1											
事後聞知		16		1			5	22	3	1	2	2		4	2	2	1	1	1	3
その他		1						1	1											

## 時間帯別火災発生件数

(令和2年中)





## 火災による死傷者の発生状況

(令和2年中)

種別	市町別	計		佐倉市		八街市		酒々井町	
		男	女	男	女	男	女	男	女
死者	建物	1		1					
	林野								
	車両								
	船舶								
	航空機								
	その他	1				1			
	計	2		1		1			
負傷者	建物	7	5	4	5	3			
	林野								
	車両	1						1	
	船舶								
	航空機								
	その他	2	1	2	1				
	計	16		12		3		1	

## 火災による死傷者の推移(過去5年間)

種別	市町別	計		佐倉市		八街市		酒々井町	
		死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者	死者	負傷者
平成28年		2	15	1	6	1	7		2
平成29年		2	17	2	7		8		2
平成30年		4	15	2	7	2	3		5
令和元年		1	16		5	1	10		1
令和2年		2	16	1	12	1	3		1

## 出火率(人口1万人当たりの出火件数)(過去5年間)

年別	市町別	計		佐倉市		八街市		酒々井町	
		人口	出火率	人口	出火率	人口	出火率	人口	出火率
平成28年	人口	271,025		177,056		72,713		21,256	
	件数	71		34		27		10	
	出火率	2.6		1.9		3.7		4.7	
平成29年	人口	269,870		176,744		72,006		21,120	
	件数	99		49		39		11	
	出火率	3.7		2.8		5.4		5.2	
平成30年	人口	268,535		176,291		71,290		20,954	
	件数	83		49		28		6	
	出火率	3.1		2.8		3.9		2.9	
令和元年	人口	267,006		175,833		70,343		20,830	
	件数	83		40		36		7	
	出火率	3.1		2.3		5.1		3.4	
令和2年	人口	265,277		175,045		69,509		20,723	
	件数	85		56		24		5	
	出火率	3.2		3.2		3.5		2.4	

(注) 人口については各年の1月1日現在の数値によるもの

# 建物火災用途別発生件数

(令和2年中)

用途	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
住宅	3	1	1	1	2	5	2	2				2	19
併用住宅													
共同住宅等	1	1	1	1									4
劇場													
集会場													
キャバレー													
遊技場													
性風俗													
カラオケ													
料理店													
飲食店							1						1
物品販売店													
旅館													
病院													
社会福祉施設										1			1
幼稚園													
学校													
図書館													
特殊浴場													
公衆浴場													
駅												1	1
神社・寺院													
工場	2	1		1		1				2	1		8
スタジオ													
駐車場		1											1
航空機庫													
倉庫		1											1
事務所										1			1
特定複合													
非特定複合										1	1		2
文化財													
その他		1	1	1									3
計	6	6	3	4	2	6	3	2		5	2	3	42

発火源、経過、着火物分類状況

(令和2年中)

発火源		経過		着火物	
こ	ろん	6	放火・放火の疑い	15	屋根・ひさし等
マ	ツチ・ライタ	1	電気的原因で発熱する	16	壁・床・天井等
た	き	14	化学的原因で発熱する	4	付帯建築物
た	ば	5	熱的原因で発熱する	6	家具・造作類
電	気機器	5	火源等が運動により接触する	31	花火・火薬類等
配	線器具	1	器具機械の構造等不良		ガス類等
衝	撃による火花	2	使用方法が不良	9	危険物・可燃性物質
ス	ト	4	火遊び		織維類
電	灯・電話等の配線	7	交通機関に起こる事故		木質物
交	通機関内配線		天変地変による		屑・ごみ類
焼	却炉	4	その他の		枯草・落葉等
風	呂かまど		不明・調査中	4	自動車・電車等
そ	の他	18			その他の
不	明・調査中	18			不明・調査中
	計	85	計	85	計

出火原因別発生件数(火災種別・月別全火災)

(令和2年中)

原因別	火災種別						計	月別											
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
放火(疑い含む)	5	1	2			7	15	1	4			1	1	1	4			2	1
こんろ	6						6			2			1	2	1				
たき火	3	2				9	14	2	1	1	2	1	1					4	2
たばこ	2					3	5						1		1	1		1	1
マッチ・ライター	1						1	1											
電灯・電話等の配線	2					5	7				1	1		1	1	1	2		
配線器具	1						1			1									
ストーブ	4						4	1	1								1		1
火遊び																			
風呂かまど																			
焼却炉	3		1				4		2		1				1				
炉	1						1	1											
かまど																			
こたつ																			
ボイラー	1						1						1						
煙突・煙道																			
排気管			1				1												1
電気機器	4					1	5						1			3			1
電気装置	1					1	2	1		1									
溶接・溶断機			1			1	2			1								1	
内燃機関																			
灯火	2						2			1	1								
衝突の火花																			
取灰						2	2					2							
火入れ																			
その他	4		3			1	8	1	2				2					2	1
不明・調査中	2		1			1	4	1		1									2
合計	42	3	9			31	85	9	10	4	8	6	7	5	8	2	6	10	10

出火原因別発生件数（月別建物火災）

（令和2年中）

原因別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
放火（疑い含む）	1	2				1		1					5
こんろ			2			1	2	1					6
たき火				1	1	1							3
たばこ						1						1	2
マッチ・ライター	1												1
電灯・電話等の配線							1			1			2
配線器具			1										1
ストーブ	1	1								1		1	4
火遊び													
風呂かまど													
焼却炉		2		1									3
炉	1												1
かまど													
こたつ													
ポイラー						1							1
煙突・煙道													
排気管													
電気機器										3		1	4
電気装置	1												1
溶接・溶断機													
内燃機関													
灯火				1	1								2
衝突の火花													
取灰													
火入れ													
その他		1				1					2		4
不明・調査中	1			1									2
計	6	6	3	4	2	6	3	2		5	2	3	42

### 構成市町別火災の推移(過去5年間)

市町別	種別	年別				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
佐倉市	建物火災	16	24	28	13	33
	林野火災	1	6	5	3	2
	車両火災	4	5	6	5	4
	船舶火災					
	航空機火災					
	その他の火災	13	14	10	19	17
	計	34	49	49	40	56
八街市	建物火災	16	19	15	20	8
	林野火災	5	3	2	1	1
	車両火災	4	2		4	2
	船舶火災					
	航空機火災					
	その他の火災	2	15	11	11	13
	計	27	39	28	36	24
酒々井町	建物火災	8	7	3	3	1
	林野火災			2	1	
	車両火災	1	1		1	3
	船舶火災					
	航空機火災					
	その他の火災	1	3	1	2	1
	計	10	11	6	7	5
合計	建物火災	40	50	46	36	42
	林野火災	6	9	9	5	3
	車両火災	9	8	6	10	9
	船舶火災					
	航空機火災					
	その他の火災	16	32	22	32	31
	計	71	99	83	83	85

り災状況の推移（過去5年間）

区分 年別	火災件数		損害額 (千円)	建 物 火 災						
	うち建物 火災の発 生件数	焼損 床面積 (㎡)		焼損 表面積 (㎡)	焼損棟数 うち爆発火 災による棟 数	り災 世帯	り災 人員	損害額 (千円)		
平成 28 年	71	40	160,044	1,869	157	67		34	99	154,704
平成 29 年	99	50	207,218	2,414	281	89		53	125	182,970
平成 30 年	83	46	242,241	3,448	99	95		37	87	230,224
令和 元 年	83	36	137,828	1,296	120	50		23	54	103,204
令和 2 年	85	42	80,582	903	99	71		41	90	68,368

※建物損害額に爆発建物損害は含まず。

出火原因別発生件数の推移（全火災：過去5年間）

原因別 \ 年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
放火（疑い含む）	19	15	12	11	15
こんろ	4	6	5	6	6
たき火	7	16	20	18	14
たばこ	3	6	4	4	5
マッチ・ライター	3	2			1
電灯・電話等の配線	6	8	9	10	7
配線器具	3	5	3	4	1
ストーブ		3	2	1	4
火遊び	3	4	1	1	
風呂かまど			2		
焼却炉	1	5	1	2	4
炉			1	1	1
かまど			1		
こたつ					
ポイラー					1
煙突・煙道					
排気管	2		1	2	1
電気機器	1	4	4	4	5
電気装置		1	1	1	2
溶接・溶断機	3	2	1	1	2
内燃機関		1			
灯	1	1		2	2
衝突の火花					
取灰				2	2
火入れ		2	3	1	
その他	8	13	8	10	8
不明・調査中	7	5	4	2	4
計	71	99	83	83	85



出火原因別発生件数の推移（建物火災：過去5年間）

原因別	年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
	放火（疑い含む）		12	5	7	4
こ ん ろ		4	6	5	6	6
た き 火		1	5	6	2	3
た ば こ		2	3	4	2	2
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー		1	1			1
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線		1	4	5	3	2
配 線 器 具		3	2	3	4	1
ス ト ー ブ			3	2	1	4
火 遊 び		1	2			
風 呂 か ま ど				2		
焼 却 炉			2			3
炉					1	1
か ま ど				1		
こ た つ						
ポ イ ラ ー						1
煙 突 ・ 煙 道						
排 気 管						
電 気 機 器			2	1	2	4
電 気 装 置				1	1	1
溶 接 ・ 溶 断 機		2	2			
内 燃 機 関						
灯 火		1	1		2	2
衝 突 の 火 花						
取 灰						
火 入 れ				2		
そ の 他		5	7	3	7	4
不 明 ・ 調 査 中		7	5	4	1	2
合 計		40	50	46	36	42

火災原因調査・鑑識用機（器）材保有状況

(令和3年4月1日現在)

機 器 名 称	数 量	用 途
ガスクロマトグラフ質量分析計	1 式	油脂等の品名の特定
フーリエ変換赤外分光光度計	1 式	赤外線による物質の特定
マクロ撮影装置	1 式	接写撮影
実体顕微鏡	1 式	15～90倍に拡大観察
金属顕微鏡	1 式	50～800倍に拡大、断面観察
可視光照射器	1 台	光硬化樹脂用照射器
金属切断機	1 台	試料等の切断
精密研磨機	1 台	鏡面仕上用研磨機
試料乾燥機	1 台	鏡面仕上げ済試料の乾燥
小形データ集録装置	1 式	多点の温度測定、記録
引火点測定器	3 台	引火点の測定
防湿保管庫	1 台	顕微鏡等の防湿保管庫
拡大鏡付きライト	2 台	3倍の拡大鏡付の照明
デジマチックキャリパ	1 個	デジタル表示のノギス
マルチクイックスタンド	1 台	試料等の固定スタンド
電子天秤	1 台	試料の重量測定（最小表示0.01 g）
デジタルテスター	1 個	デジタル表示のテスター
北川式ガス検知器	1 1 個	ガソリン、灯油等の検出
携帯用温度計	1 個	デジタル表示の温度計
絶縁抵抗計	1 個	絶縁抵抗の測定
漏洩電流計	1 個	漏洩電流の測定
酸欠・爆発ガス警報器	1 個	可燃性ガスの測定
炭化深度計	5 個	炭化深度の測定
接地抵抗計	1 個	接地抵抗の測定
検相器	1 個	3相電流の結線確認
携帯用投光器	1 式	バッテリー投光器
現場写真用表示板	1 1 式	写真番号表示
ディスクグラインダー	1 台	試料等の切断
バイス（万力）	1 台	試料等の固定
鑑識用小型熱風機	1 台	溶融固着した樹脂等の除去
超音波カッター	1 台	溶融固着した樹脂等の除去
X線透過装置	1 台	非破壊検査の実施

# 警 防 編

## <内 容>

◇ 災害出動状況	73
◇ 災害種別出動状況	74
◇ 消防本部・消防署車両保有状況	75
◇ 消防本部・消防署車両配置状況	76
◇ 災害出動計画表	77
◇ 消火活動状況	78
◇ 救急活動概要	79
◇ 構成市町別救急活動状況	80
◇ 月別救急出場件数及び搬送人員	81
◇ 署所別救急活動状況	82
◇ 曜日別救急出場件数及び搬送人員	83
◇ 時間帯別救急出場件数	84
◇ 医療機関に対する収容依頼回数別搬送人員	85
◇ 覚知別救急出場件数	85
◇ 収容所要時間別搬送人員	86
◇ 年齢区分別事故種別搬送人員	87
◇ 傷病程度別事故種別搬送人員	88
◇ 救急隊員が行った応急処置等の状況	89
◇ 救急活動の推移（過去5年間）	90
◇ 事故種別ドクターヘリ連携活動状況	91
◇ 救命講習等実施状況	92
◇ 救命講習等の推移（過去5年間）	92
◇ 救助活動概要	93
◇ 構成市町別救助活動状況	94
◇ 事故種別救助出動人員及び活動人員	95
◇ 事故種別救助出動車両及び活動車両	95
◇ 救助活動の推移（過去5年間）	96
◇ 救助資機（器）材の保有状況	97
◇ 消防応援協定	98



## 災害出動状況

令和2年中における災害出動件数は13,964件で、前年(15,639件)と比較すると1,675件(10.7%)の減少である。

### 1 構成市町別出動状況

佐倉市は8,622件で全体の61.7%を占め、前年(9,644件)比1,022件(10.6%)の減少である。八街市は4,273件で、全体の30.6%を占め、前年(4,782件)比509件(10.6%)の減少である。酒々井町は1,064件で、全体の7.6%を占め、前年(1,210件)比146件(12.1%)の減少である。

組合管外は5件(四街道市3件、千葉市1件、富里市1件)の出動があった。

※ 組合管外とは、隣接市への出動で現場が構成市町を超えたもの。(救急出動と救助出動については総務省消防庁への報告上、実施構成市町の件数として報告することから組合管外へは計上しない。)

### 2 災害種別出動状況

火災出動は109件で全体の0.8%を占め、前年(122件)比13件の減少である。

危険排除出動は88件で全体の0.6%を占め、前年(108件)比20件の減少である。

緊急確認出動は268件で全体の1.9%を占め、前年(268件)比増減なしである。

調査出動は17件で全体の0.1%を占め、前年(9件)比8件の増加である。

風水害出動は3件で全体の0.1%を占め、前年(220件)比217件の減少である。

救急支援出動は1,354件で全体の9.7%を占め、前年(1,406件)比52件の減少である。

※ 救急支援出動とは、現場から最も近い署所の救急車が出動中の時や救急隊3名では傷病者を建物等からの搬出又は、救急車内収容が困難なとき、更には管内の交通量が多い国道で発生した交通事故や救急隊がドクターヘリを要請した場合等で2次災害を防止するため消防隊が救急隊と同時に出動し、応急処置や安全確保及び搬出、収容の補助活動を実施するための出動である。

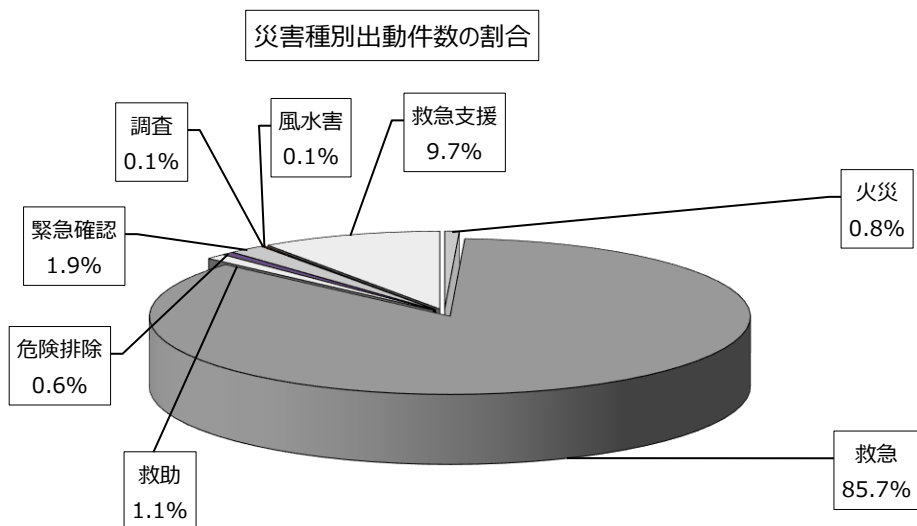
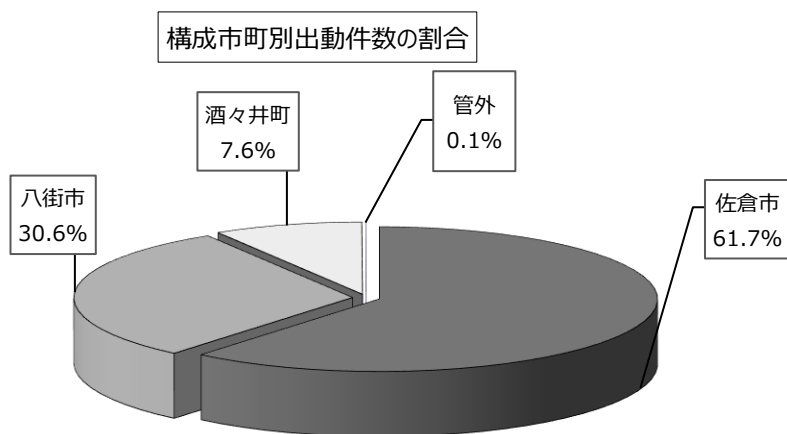
※ 災害種別について、令和元年12月の佐倉市八街市酒々井町消防組合警防規程の改正により、警戒出動を危険排除出動、偵察出動を緊急確認出動としたもの。

## 災害種別出動状況

(令和2年中)

種別 市町	火災	救急	救助	危険 排除	緊急 確認	調査	風水害	救急支援	合計
佐倉市	55	7,454	92	46	123	15	2	835	8,622
八街市	41	3,635	44	31	112	1		409	4,273
酒々井町	11	887	13	11	32	1	1	108	1,064
組合管外	2				1			2	5
計	109	11,976	149	88	268	17	3	1,354	13,964

※ 災害種別のうち、救急出動と救助出動については総務省消防庁への報告上、実施構成市町の件数として報告することから組合管外へは計上しない。



消防本部・消防署車両保有状況

(令和3年4月1日現在)

所属	No.	車 両 種 別	呼 称	車 名	架 装 会 社	年式	整備 年度	登録番号	登録年月日	
消防本部	1	乗用車 (総務)	総務 1	トヨタ	千葉トヨタ	16	15	300や8508	H16.2.24	
	2	連絡車 (総務)	総務 2	ニッサン	千都日産	16	16	300ゆ9899	H16.5.24	
	3	乗用車 (企画)	企画 1	トヨタ	千葉トヨタ	7	7	33 む3993	H7.6.14	
	4	連絡車 (企画)	企画 2	トヨタ	トヨタカローラ千葉	7	7	46 せ9624	H7.6.9	
	5	連絡車 (予防)	予防 1	ニッサン	千葉日産	27	27	400ね3465	H27.12.22	
	6	連絡車 (予防)	予防 2	ニッサン	千葉日産	29	28	400ね9156	H29.1.23	
	7	査察車 (査調)	査察 1	トヨタ	千葉トヨタ	7	7	88 す1395	H7.6.29	
	8	調査車 (査調)	調査 1	ニッサン	千都日産	15	15	800す7575	H15.11.25	
	9	指揮車 (警防)	本部指揮 2	トヨタ	平和機械	31	30	800そ4198	H31.1.25	
	10	応急手当普及啓発車 (警防)	警防 1	ニッサン	千葉日産	2	2	100た9485	R2.6.5	
	11	消防貨物車 (警防)	警防 2	ニッサン	千都日産	17	17	400つ8918	H17.5.20	
	12	連絡車 (警防)	警防 3	マツダ	千葉マツダ	26	25	583ひ2014	H26.3.28	
	13	災害対応多目的車 (警防)	佐倉輸送 1	ニッサン	千葉日産	20	19	800せ4730	H20.3.5	
	14	支援車 (警防)	佐倉後方支援 1	日野	平和機械	26	25	800は2164	H26.3.14	
	15	津波・大規模風水害対策車 (警防)	佐倉機動支援 1	いすゞ	赤尾	2	1	830た2020	R2.3.23	
			小型水陸両用バギー (警防)	佐倉バギー 1	アーク	赤尾	2	1	佐倉と416	R2.3.18
		16	指揮車 (指揮)	本部指揮 1	トヨタ	平和機械	30	29	830さ2018	H30.2.19
	17	連絡車 (指揮)	指揮指令連絡車	ニッサン	日産サニー千葉	6	6	46 す5164	H6.5.26	
佐倉消防署	18	指揮車	佐倉指揮 1	トヨタ	トヨタカローラ千葉	14	13	800す2843	H14.3.6	
	19	水槽付消防ポンプ自動車	佐倉水槽 1	日野	モリタ	28	28	800は2425	H28.10.21	
	20	消防ポンプ自動車	佐倉ポンプ 1	日野	モリタ	28	28	800そ2338	H28.11.21	
	21	消防ポンプ自動車	佐倉ポンプ 2	いすゞ	野口ポンプ	17	16	800せ 346	H17.3.24	
	22	化学消防ポンプ自動車	佐倉化学 1	日野	モリタ	30	29	800は2554	H30.1.16	
	23	救助工作車	佐倉救助 1	日野	帝商	21	20	831や 119	H21.3.11	
	24	屈折はしご付消防自動車	佐倉梯子 1	日野	モリタ	26	26	800は2238	H26.11.17	
	25	空気充填車	佐倉充填 1	日野	野口ポンプ	18	17	800せ1863	H18.1.16	
	26	資機材搬送車	佐倉資機材 1	いすゞ	東京いすゞ	15	15	800す7194	H15.9.26	
	27	高規格救急自動車	佐倉救急 1	日産	千葉日産	2	1	800そ5190	R2.2.14	
	28	高規格救急自動車	佐倉救急 2	トヨタ	千葉トヨタ	29	29	800そ3140	H29.10.13	
	29	高規格救急自動車	佐倉救急 3	トヨタ	千葉トヨタ	21	21	800せ6379	H21.11.25	
	30	高規格救急自動車	佐倉救急 4	トヨタ	千葉トヨタ	23	23	800せ8195	H23.12.9	
	31	連絡車	佐倉連絡車	ニッサン	千葉日産	29	28	400ね9157	H29.1.23	
	32	ボートトレーラー	佐倉ボート	スペシャルトレーラーズ	千葉トヨペット	15	15	800る 255	H15.6.30	
	神門出張所	33	先行車	神門指揮 1	トヨタ	千葉トヨタ	7	7	88 す1394	H7.6.29
		34	化学消防ポンプ自動車	神門化学 1	日野	モリタ	31	30	800は2665	H31.1.9
		35	消防ポンプ自動車	神門ポンプ 1	日野	ベルリング	3	2	800そ6351	R3.3.19
		36	高規格救急自動車	神門救急 1	トヨタ	千葉トヨタ	27	27	800そ1565	H27.12.9
	白井出張所	37	先行車	白井指揮 1	ニッサン	日本ドライケミカル	2	2	800そ5956	R2.11.17
		38	水槽付消防ポンプ自動車	白井水槽 1	いすゞ	野口ポンプ	20	19	800は1572	H20.3.3
		39	消防ポンプ自動車	白井ポンプ 1	いすゞ	野口ポンプ	20	20	800せ5435	H20.11.21
		40	高規格救急自動車	白井救急 1	日産	千葉日産	2	1	800そ5191	R2.2.14
	角来出張所	41	先行車	角来指揮 1	トヨタ	トヨタカローラ千葉	7	7	88 せ 432	H7.7.11
		42	水槽付消防ポンプ自動車	角来水槽 1	日野	モリタ	1	1	800は2754	R1.12.11
		43	水槽付消防ポンプ自動車	角来水槽 2	いすゞ	日本ドライケミカル	18	17	800は1253	H18.2.21
		44	消防ポンプ自動車	角来ポンプ 1	いすゞ	野口ポンプ	19	18	800せ3514	H19.2.1
		45	電源照明車	角来照明 1	いすゞ	野口ポンプ	18	18	800せ3403	H18.12.20
		46	高規格救急自動車	角来救急 1	トヨタ	千葉トヨタ	25	25	830さ8870	H25.10.29
	志津消防署	47	指揮車	志津指揮 1	ニッサン	千葉日産	31	30	800そ4353	H31.3.20
		48	水槽付消防ポンプ自動車	志津水槽 1	いすゞ	日本ドライケミカル	18	18	800は1431	H18.12.12
		49	水槽付消防ポンプ自動車	志津水槽 2	いすゞ	野口ポンプ	16	15	800は899	H16.3.9
50		消防ポンプ自動車	志津ポンプ 1	日野	野口ポンプ	21	21	800せ6343	H21.11.12	
51		高規格救急自動車	志津救急 1	ニッサン	千葉日産	3	2	800そ6308	R3.3.9	
52		先行車	志津南指揮 1	ニッサン	日本ドライケミカル	2	2	800そ5955	R2.11.17	
志津南出張所	53	水槽付消防ポンプ自動車	志津南水槽 1	日野	モリタ	31	30	800は2687	H31.3.28	
	54	消防ポンプ自動車	志津南ポンプ 1	いすゞ	野口ポンプ	18	17	800せ1912	H18.1.25	
	55	はしご付消防自動車	志津南梯子 1	日野	モリタ	27	27	800は2341	H27.10.5	
	56	高規格救急自動車	志津南救急 1	トヨタ	千葉トヨタ	25	25	830さ8833	H25.11.5	
八街消防署	57	指揮車	八街指揮 1	ニッサン	千葉日産	31	30	800そ4354	H31.3.20	
	58	救助工作車	八街救助 1	日野	モリタ	28	28	800は2439	H28.12.16	
	59	水槽付消防ポンプ自動車	八街水槽 1	日野	野口ポンプ	31	30	800は2666	H31.1.11	
	60	消防ポンプ自動車	八街ポンプ 1	日野	モリタ	29	29	800そ3163	H29.10.20	
	61	高規格救急自動車	八街救急 1	ニッサン	千葉日産	3	2	800そ6307	R3.3.9	
	62	高規格救急自動車	八街救急 2	トヨタ	千葉トヨタ	28	28	800そ2290	H28.10.28	
八街南出張所	63	先行車	八街南部指揮 1	三菱	三菱コルト	10	10	800た 259	H10.9.9	
	64	水槽付消防ポンプ自動車	八街南部水槽 1	日野	野口ポンプ	30	29	800は2565	H30.2.27	
	65	消防ポンプ自動車	八街南部ポンプ 1	日野	ベルリング	3	2	800そ6350	R3.3.19	
	66	高規格救急自動車	八街南部救急 1	日産	千葉日産	31	30	800そ4196	H31.1.24	
酒々井消防署	67	指揮車	酒々井指揮 1	トヨタ	トヨタカローラ千葉	15	15	800す7577	H15.11.25	
	68	水槽付消防ポンプ自動車	酒々井水槽 1	いすゞ	野口ポンプ	21	21	800は1744	H21.12.25	
	69	消防ポンプ自動車	酒々井ポンプ 1	日野	野口ポンプ	28	27	800そ1654	H28.1.28	
	70	小型動力ポンプ付水槽車	酒々井給水 1	いすゞ	日本ドライケミカル	2	1	830ち2020	R2.3.23	
	71	高規格救急自動車	酒々井救急 1	トヨタ	千葉トヨタ	27	26	800そ 927	H27.2.13	

消防本部・消防署車両配置状況

(令和3年4月1日現在)

車種別	所 属	消防本部					佐倉消防署	神門出張所	臼井出張所	角来出張所	志津消防署	志津南出張所	八街消防署	八街南部出張所	酒々井消防署	合 計	
		総務課	企画課	予防課	査察調査課	警防課											指揮指令課
指揮車					1	1	1				1		1		6		
先行車								1	1	1		1		1	5		
消防ポンプ自動車							2	1	1	1	1	1	1	1	10		
水槽付消防ポンプ自動車							1		1	2	2	1	1	1	10		
化学消防ポンプ自動車							1	1							2		
屈折はしご付消防自動車							1								1		
はしご付消防自動車												1			1		
救助工作車							1						1		2		
津波・大規模風水害対策車					1										1		
小型動力ポンプ付水槽車														1	1		
高規格救急自動車							4	1	1	1	1	1	2	1	13		
空気充填車							1								1		
電源照明車									1						1		
査察車				1											1		
調査車				1											1		
連絡車		1	1	2		1	1								7		
資機材搬送車							1								1		
乗用車		1	1												2		
消防貨物車					1										1		
支援車					1										1		
災害対応多目的車					1										1		
応急手当普及啓発車					1										1		
ボートトレーラー							1								1		
計		2	2	2	2	7	2	15	4	4	6	5	5	6	4	5	71



# 災害出動計画表

(令和3年4月1日現在)

災害種別	特命出動	計	第1次出動	計	第2次出動	計	第3次出動	計	
火	建物：普通	消防車 1隊	1隊	指揮統制車 1隊 消防車 4隊 救助工作車 1隊 救急車 1隊	7隊	第1次出動車両 + 消防車 3隊	10隊	第2次出動車両 + 消防車 3隊	13隊
	建物：中高層	消防車 1隊	1隊	指揮統制車 1隊 消防車 7隊 梯子車 2隊 救助工作車 1隊 救急車 1隊	12隊	第1次出動車両 + 消防車 3隊	15隊	第2次出動車両 + 消防車 3隊	18隊
	建物：指定建物 (大建築物)	消防車 1隊	1隊	指揮統制車 1隊 消防車 7隊 救助工作車 1隊 救急車 1隊	10隊	第1次出動車両 + 消防車 3隊	13隊	第2次出動車両 + 消防車 3隊	16隊
	車両：自動車	消防車 1隊	1隊	指揮統制車 1隊 消防車 4隊 救助工作車 1隊 救急車 1隊	7隊	第1次出動車両 + 消防車 3隊	10隊	第2次出動車両 + 消防車 3隊	13隊
	林野	消防車 1隊	1隊	指揮統制車 1隊 消防車 4隊	5隊	第1次出動車両 + 消防車 3隊	8隊	第2次出動車両 + 消防車 3隊	11隊
	危険物	消防車 1隊	1隊	指揮統制車 1隊 消防車 2隊 化学車 2隊 救助工作車 1隊 救急車 1隊	7隊	第1次出動車両 + 消防車 3隊	10隊	第2次出動車両 + 消防車 3隊	13隊
救助	普通：救急分類	消防車 1隊 救急車 1隊	2隊	指揮統制車 1隊 消防車 2隊 救助工作車 1隊 救急車 1隊	5隊	第1次出動車両 + 消防車 2隊 救急車 1隊	8隊	第2次出動車両 + 消防車 2隊 救急車 1隊	11隊
	その他	救急支援	消防車 1隊 救急車 1隊	2隊	指揮統制車 1隊 消防車 1隊 救急車 3隊	5隊	第1次出動車両 + 消防車 1隊	6隊	第2次出動車両 + 消防車 1隊
P A連携		消防車 1隊 ※ A E D搭載車 救急車 1隊	2隊	消防車 1隊 救急車 1隊	2隊	第1次出動車両 + 消防車 1隊	3隊	第2次出動車両 + 消防車 1隊	4隊

※1 災害発生地を基点として、車両動態位置管理装置により、現場から最も近い位置にいる車両から優先的に出動車両を選択する。(出動区域は定めない。)

※2 空気充填車、電源照明車、支援車の出動については現場要請とする。

消火活動状況

(令和2年中)

区分 月別	火災種別							消防署								消防団				
	合計 件数	建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空 機火災	その他 火災	出動 回数	出動 延台数	出動 延人員	放水 台数	主たる使用水利					出動 回数	出動 延台数	出動 延人員	放水 台数
												消火 栓	防火 水槽	河川 池	積載 水	その他				
1月	9	6		1			2	16	90	298	9	1			5		11	63	307	1
2月	10	6		2			2	12	73	252	30	13	2		12		10	45	233	5
3月	4	3					1	8	36	122	3				2		4	13	86	
4月	8	4	1	1			2	11	62	216	24	6	3		14		8	26	121	
5月	6	2					4	7	36	125	6		1		4		5	10	100	
6月	7	6					1	14	70	255	14	4	2		6		8	45	231	5
7月	5	3					2	6	29	102	5		2		3		4	26	133	6
8月	8	2		2			4	12	71	240	8	1	2		5		10	54	248	1
9月	2						2	6	21	77							5	23	94	1
10月	6	5					1	9	40	135	13	3			4		5	19	99	1
11月	10	2	2				6	13	68	233	20	4	2	1	12		11	64	239	
12月	10	3		3			4	12	47	153	9	2			6		5	21	88	
計	85	42	3	9			31	126	643	2,208	141	34	14	1	73		86	409	1,979	20

## 救急活動概要

消防組合の救急体制は、救急隊 11 隊を配置し、救急救命士 90 名を含む資格教育を修了し専門的な知識をもつ救急隊員により運用しているほか、年次計画等に基づき救急業務の高度化と救急救命士の養成に努めている。

更に、高齢化が進む社会構造の変化、疾病構造の変化及び交通事故に伴う傷病者の救命効果の向上を図るため、平成 15 年 3 月に当消防組合を含む近隣の消防本部及び医師会、並びに救急医療機関による「印旛地域救急業務メディカルコントロール協議会」が発足し、担当医師からの救急救命士を含む救急隊員への直接の指示・指導・助言体制、事後検証体制及び病院研修体制が構築され、救急隊員等の更なる資質の向上並びに気管挿管・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管・薬剤投与・心肺機能停止前の静脈路確保と輸液・血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖投与の「救急救命士の処置範囲拡大」に伴う生涯研修教育等にも努めている。

令和 2 年中における救急業務実施状況は、出場件数 11,976 件、不搬送件数 1,357 件、搬送人員 10,690 人であり、1 日平均 32.7 件（前年 36.5 件）、約 44.0 分に 1 回（前年約 39.4 分に 1 回）の割合で救急隊が出場し、構成市町の住民全体の約 24.5 人に 1 人が搬送されたことになる。

前年と比較すると、出場件数が 1,357 件（10.2%）減少し、搬送人員においても 1,054 人（9.0%）減少している。

また、令和 2 年中の消防組合のドクターヘリ連携活動状況は、連携活動件数 161 件であり、構成市町別にみると、佐倉市 104 件（64.6%）、八街市 51 件（31.7%）、酒々井町 6 件（3.7%）となっており、傷病者の救命救護のため、積極的な連携活動を行っている。

令和 2 年中における地域住民等に対する応急手当普及啓発活動については、上級救命講習を 26 名、普通救命講習（Ⅰ講習 3 時間・Ⅱ講習 4 時間）を 274 名、救急講習（3 時間未満）を 691 名がそれぞれ受講した。

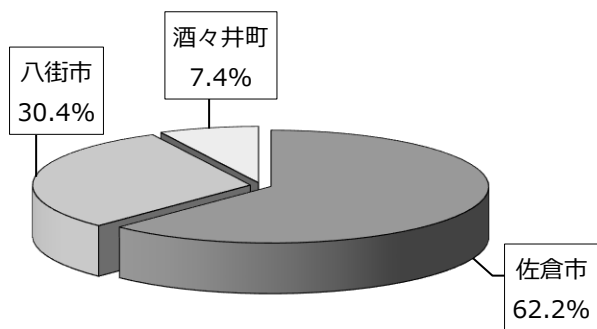
今後は、救急現場に居合わせた人が救命処置を行うことで、一人でも多くの人が社会復帰できるよう応急手当の普及啓発に努めていく。

# 構成市町別救急活動状況

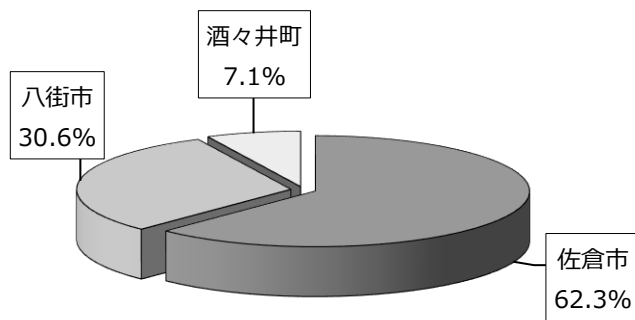
(令和2年中)

市町別	事故種別 区分	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	輸器材送等	その他
計	出場件数	11,976	47	1	2	808	151	50	1,860	47	136	7,822	814	2	236	
	不搬送	1,357	35		2	93	3	2	176	14	44	749	3	2	234	
	搬送人員	10,690	13	1		774	148	48	1,686	33	92	7,082	811		2	
佐倉市	出場件数	7,454	33	1	2	438	87	30	1,243	38	80	4,791	572	2	137	
	不搬送	832	24		2	53	3	1	124	12	27	448	1	2	135	
	搬送人員	6,656	10	1		412	84	29	1,121	26	53	4,347	571		2	
八街市	出場件数	3,635	12			289	50	12	478	8	46	2,445	218		77	
	不搬送	391	9			32		1	37	2	11	220	2		77	
	搬送人員	3,271	3			280	50	11	441	6	35	2,229	216			
酒々井町	出場件数	887	2			81	14	8	139	1	10	586	24		22	
	不搬送	134	2			8			15		6	81			22	
	搬送人員	763				82	14	8	124	1	4	506	24			

構成市町別出場件数の割合



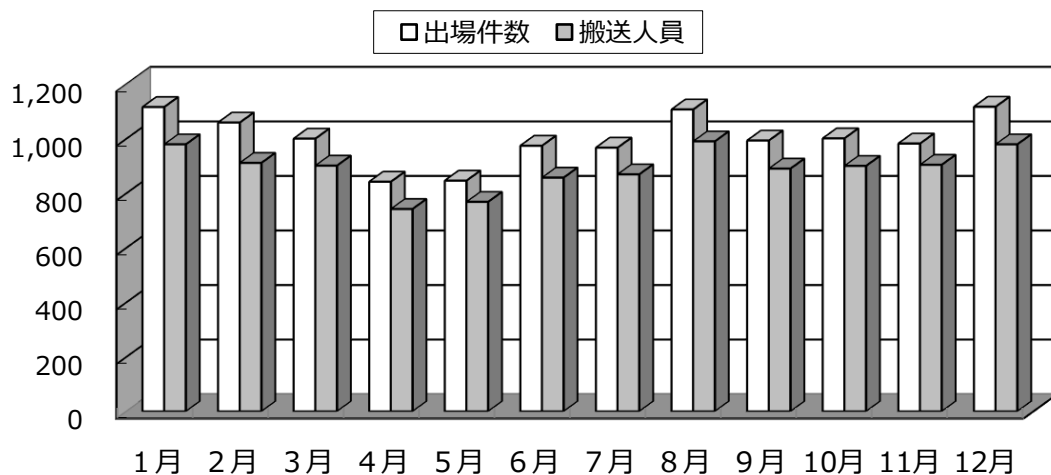
構成市町別搬送人員の割合



# 月別救急出場件数及び搬送人員

(令和2年中)

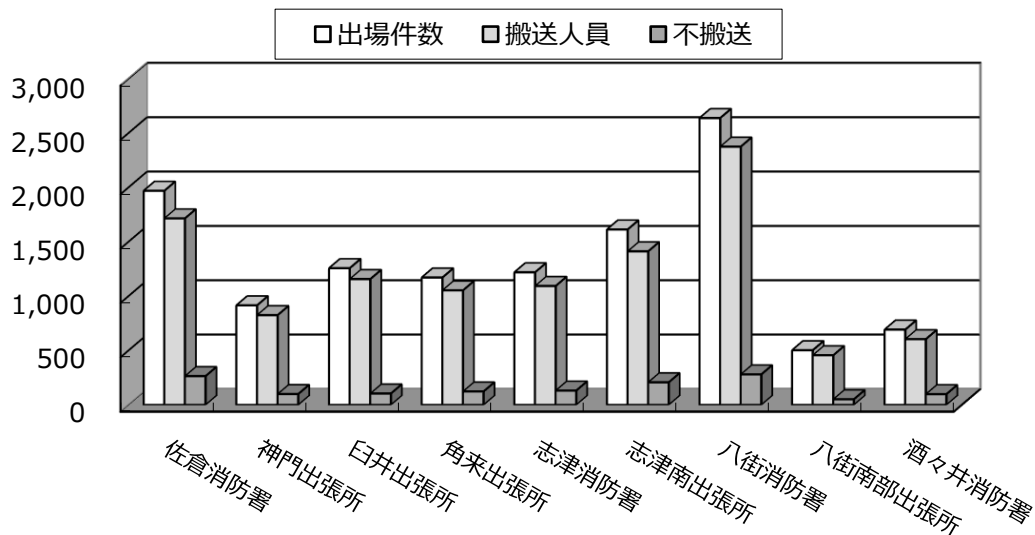
月別	事故種別 区分	計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
			災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
			害	害	難	通	害	競	負	害	行	病	他
計	出場件数	11,976	47	1	2	808	151	50	1,860	47	136	7,822	1,052
	搬送人員	10,690	13	1		774	148	48	1,686	33	92	7,082	813
1月	出場件数	1,116	5			77	11	5	148	6	6	773	85
	搬送人員	979	2			69	11	5	140	5	4	682	61
2月	出場件数	1,031	9			80	11	4	138	1	16	674	98
	搬送人員	911	3			77	11	3	119		11	606	81
3月	出場件数	1,000	2			73	10	2	159	4	16	636	98
	搬送人員	901	1			67	10	2	142	3	11	577	88
4月	出場件数	842	5	1		46	16	1	125	5	10	553	80
	搬送人員	742	1	1		46	16	1	106	3	7	495	66
5月	出場件数	846	3			41	9	1	142	5	12	575	58
	搬送人員	768				40	9	1	134	3	9	535	37
6月	出場件数	974	3			87	8	4	129	3	7	642	91
	搬送人員	857	2			82	8	4	111	3	3	579	65
7月	出場件数	967	3			65	10	4	141	4	8	645	87
	搬送人員	869	1			56	9	4	137	4	6	582	70
8月	出場件数	1,107	4			60	22	9	162	3	11	751	85
	搬送人員	990	1			58	21	9	148	3	7	696	47
9月	出場件数	993	1			69	15	9	156	4	14	652	73
	搬送人員	890				67	15	8	144	2	8	588	58
10月	出場件数	1,001	3		2	70	11	3	187	5	12	597	111
	搬送人員	900	1			72	10	3	170	2	8	543	91
11月	出場件数	982	5			82	15	5	183	2	5	599	86
	搬送人員	904				87	15	5	172	2	4	551	68
12月	出場件数	1,117	4			58	13	3	190	5	19	725	100
	搬送人員	979	1			53	13	3	163	3	14	648	81



署所別救急活動状況

(令和2年中)

署所別	事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	輸器材送等	その他
計	出場件数	11,976	47	1	2	808	151	50	1,860	47	136	7,822	814	2		236
	不搬送	1,357	35		2	93	3	2	176	14	44	749	3	2		234
	搬送人員	10,690	13	1		774	148	48	1,686	33	92	7,082	811			2
佐倉消防署	出場件数	1,969	13			147	30	10	309	12	27	1,256	112	1		52
	不搬送	264	10			12			29	4	8	148		1		52
	搬送人員	1,715	3			144	30	10	281	8	19	1,108	112			
神門出張所	出場件数	915				76	35	6	150	3	11	583	38			13
	不搬送	99				13			15	1	5	52				13
	搬送人員	825				72	35	6	135	2	6	531	38			
臼井出張所	出場件数	1,257	6		1	66	14	4	215	7	15	812	99			18
	不搬送	104	5		1	10			13	1	3	53				18
	搬送人員	1,157	1			59	14	4	202	6	12	760	99			
角来出張所	出場件数	1,171	2		1	53	9	3	188	6	11	662	211	1		24
	不搬送	123	1		1	5	1	1	18	2	4	66		1		23
	搬送人員	1,053	2			51	8	2	170	4	7	597	211			1
志津消防署	出場件数	1,219	5	1		75	7	3	217	6	14	823	46			22
	不搬送	131	3			6			20		5	75	1			21
	搬送人員	1,093	2	1		73	7	3	197	6	9	749	45			1
志津南出張所	出場件数	1,613	9			89	16	8	257	6	15	1,088	99			26
	不搬送	207	7			13	1		39	5	7	109				26
	搬送人員	1,412	2			81	15	8	218	1	8	980	99			
八街消防署	出場件数	2,638	11			200	24	9	352	7	34	1,792	156			53
	不搬送	280	8			24		1	26	1	10	156	1			53
	搬送人員	2,375	3			189	24	8	326	6	24	1,640	155			
八街南部出張所	出場件数	502				46	9	1	67		4	335	27			13
	不搬送	51				3			6			28	1			13
	搬送人員	456				48	9	1	61		4	307	26			
酒々井消防署	出場件数	692	1			56	7	6	105		5	471	26			15
	不搬送	98	1			7	1		10		2	62				15
	搬送人員	604				57	6	6	96		3	410	26			

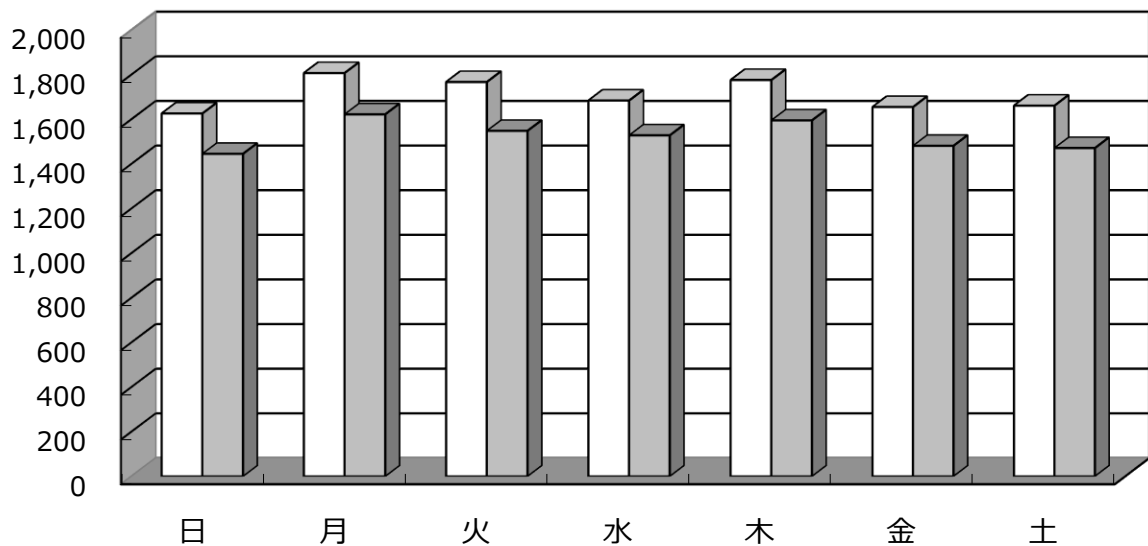


# 曜日別救急出場件数及び搬送人員

(令和2年中)

事故種別 曜日別		計	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
			災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の
			害	災	難	通	災	競	負		為		他
計	出場件数	11,976	47	1	2	808	151	50	1,860	47	136	7,822	1,052
	搬送人員	10,690	13	1		774	148	48	1,686	33	92	7,082	813
日	出場件数	1,626	6			90	10	9	288	13	14	1,128	68
	搬送人員	1,445	2			80	10	9	264	7	12	1,030	31
月	出場件数	1,807	5	1	2	112	19	8	255	4	31	1,169	201
	搬送人員	1,622	1	1		112	19	8	235	3	21	1,058	164
火	出場件数	1,767	10			116	29	5	257	4	14	1,166	166
	搬送人員	1,548	1			105	28	4	230	3	8	1,038	131
水	出場件数	1,684	11			126	23	3	260	4	21	1,099	137
	搬送人員	1,528	4			123	22	3	244	4	11	1,001	116
木	出場件数	1,776	8			122	30	4	253	5	19	1,170	165
	搬送人員	1,595	1			121	30	4	228	4	14	1,067	126
金	出場件数	1,655	3			132	21	7	250	8	15	1,038	181
	搬送人員	1,481	1			129	20	7	225	5	10	937	147
土	出場件数	1,661	4			110	19	14	297	9	22	1,052	134
	搬送人員	1,471	3			104	19	13	260	7	16	951	98

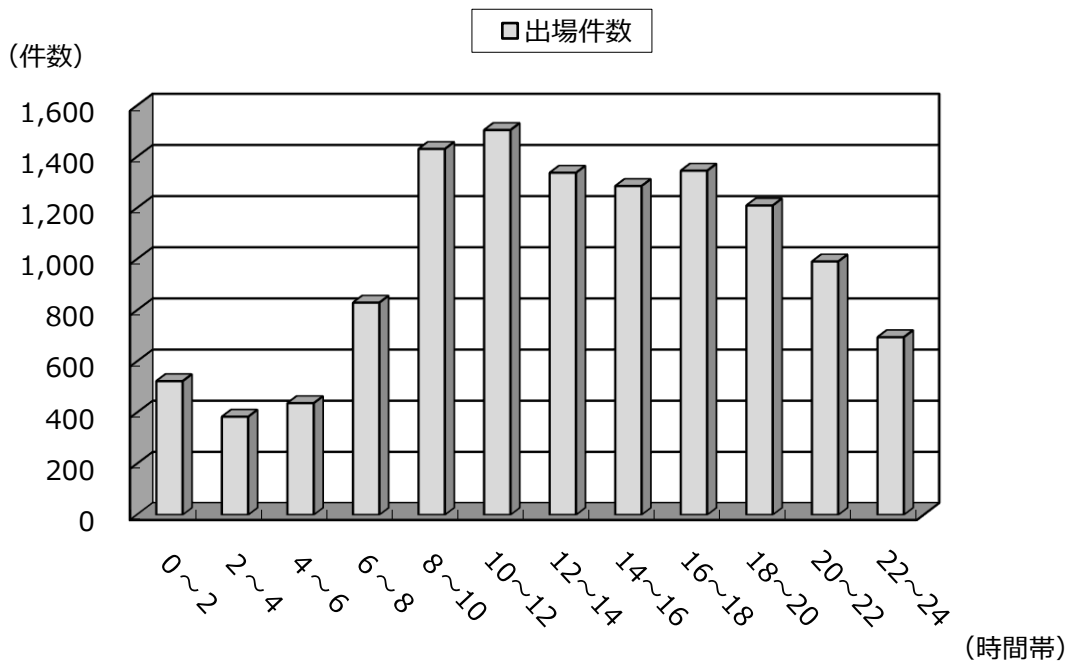
□ 出場件数    ■ 搬送人員



# 時間帯別救急出場件数

(令和2年中)

事故種別 時間帯	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	輸器材送等	その他
計	11,976	47	1	2	808	151	50	1,860	47	136	7,822	814	2		236
0～2	523	4			14	2		58	7	16	398	10			14
2～4	384	1			9	1		38	1	5	318	5			6
4～6	437	2			14			45	2	6	352	5			11
6～8	830	1			78	2		117	3	5	606	4			14
8～10	1,431	4			96	31	6	221	2	8	958	86			19
10～12	1,505	13		2	117	34	12	218	6	12	887	184			20
12～14	1,338	5			76	27	12	220	3	12	777	183			23
14～16	1,286	4	1		96	20	11	225	3	13	764	117	2		30
16～18	1,346	6			128	19	6	247	5	21	755	127			32
18～20	1,210	3			110	6	1	219	6	10	774	54			27
20～22	991	2			50	8	1	156	5	19	706	19			25
22～24	695	2			20	1	1	96	4	9	527	20			15





医療機関に対する収容依頼回数別搬送人員

(令和2年中)

事故種別 依頼回数	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	輸 資 器 材 送 等	そ の 他
計	10,690	13	1		774	148	48	1,686	33	92	7,082	811			2
1	7,660	8	1		523	110	42	1,048	22	66	5,033	806			1
2	1,589	3			140	19	3	327	4	14	1,077	2			
3	772	1			63	9	2	164	3	8	520	1			1
4	381	1			30	3	1	81		1	262	2			
5	174				11	4		40	2	1	116				
6	58				3			13			42				
7	27				2	1		7	1		16				
8	12					1		3		2	6				
9	9				2			2	1		4				
10	3							1			2				
11	2					1					1				
12	2										2				
13	1										1				
14															
15以上															

覚知別救急出場件数

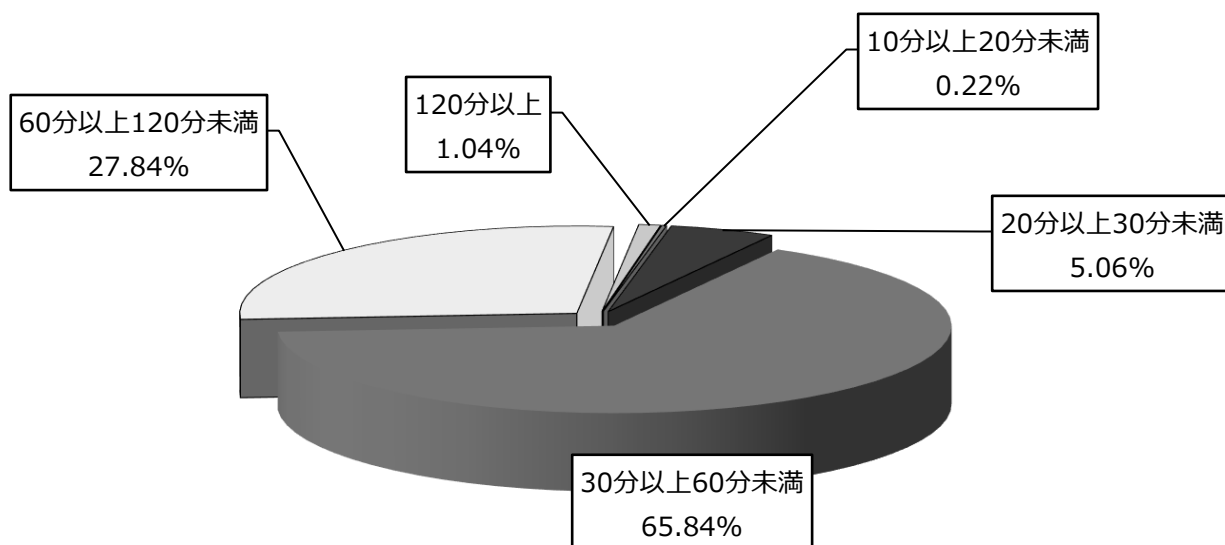
(令和2年中)

事故種別 覚知別	計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	輸 資 器 材 送 等	そ の 他
計	11,976	47	1	2	808	151	50	1,860	47	136	7,822	814	2		236
火災報知専用	11,358	39	1	2	589	148	48	1,797	34	112	7,603	809			176
警察電話	300				154			22	12	19	60				33
加入電話	152	1			11	2		16		2	98	3			19
駆け付け通報	83	1			4	1	2	20		1	48	2			4
自己覚知	10				3			2			5				
高速道路電話	2				1						1				
その他	71	6			46			3	1	2	7		2		4

# 収容所要時間別搬送人員

(令和2年中)

所要時間 種別	計		10分未満		10分以上20分未満		20分以上30分未満		30分以上60分未満		60分以上120分未満		120分以上		平均 (分)
		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	
計	10,690	5,563			24	2	541	64	7,038	3,174	2,976	2,231	111	92	53.1
急病	7,082	3,641			12	1	322	21	4,602	1,981	2,070	1,571	76	67	53.8
交通	774	402					31	10	498	215	240	172	5	5	53.7
一般負傷	1,686	774			2		49	8	1,115	407	500	348	20	11	54.9
上記以外	1,148	746			10	1	139	25	823	571	166	140	10	9	45.3

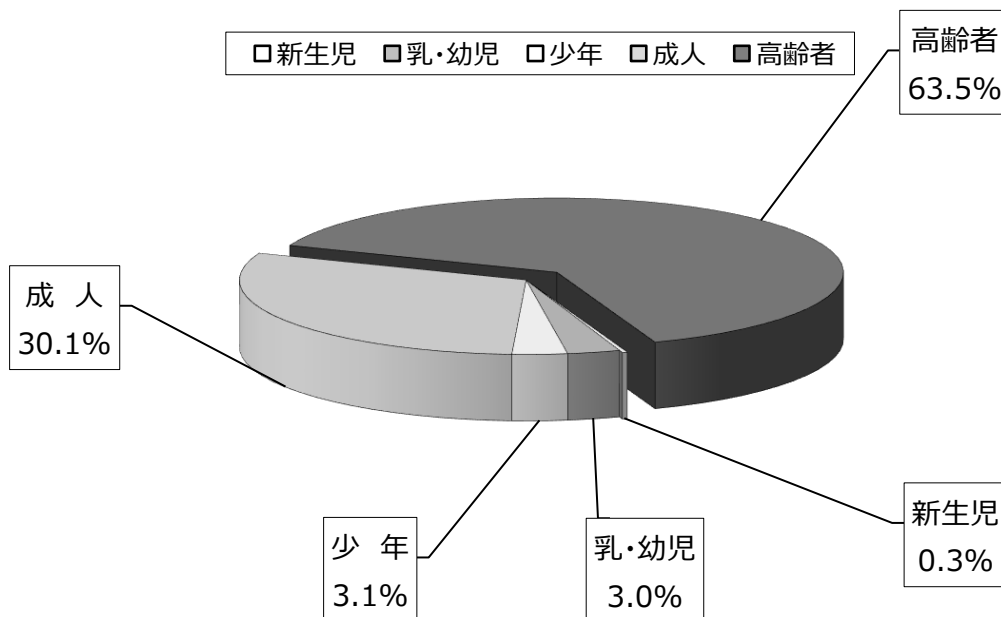


# 年齢区分別事故種別搬送人員

(令和2年中)

事故種別 年齢区分	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	10,690	13	1		774	148	48	1,686	33	92	7,082	813
新生児	30							2			4	24
乳・幼児	317				19			125			158	15
少年	332				80		39	42	2	4	151	14
成人	3,218	9	1		449	120	6	273	22	73	2,064	201
高齢者	6,793	4			226	28	3	1,244	9	15	4,705	559

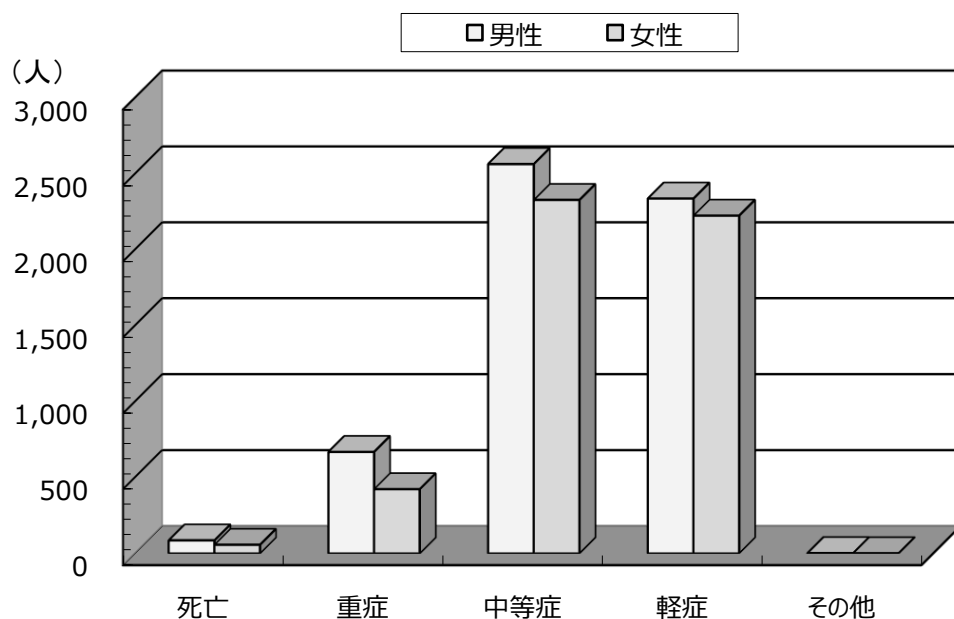
- ※ 新生児 生後28日未満の者
- ※ 乳・幼児 生後28日以上7歳未満の者
- ※ 少年 満7歳以上18歳未満の者
- ※ 成人 満18歳以上65歳未満の者
- ※ 高齢者 満65歳以上の者



# 傷病程度別事故種別搬送人員

(令和2年中)

事故種別 傷病程度・性別		計	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
			災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の
合 計	男 性	5,657	7			467	125	37	762	20	30	3,771	438
	女 性	5,033	6	1		307	23	11	924	13	62	3,311	375
	計	10,690	13	1		774	148	48	1,686	33	92	7,082	813
死 亡	男 性	86	1			2	1		2		5	75	
	女 性	57							3		1	52	1
	計	143	1			2	1		5		6	127	1
重 症	男 性	668				26	18	1	51	1	7	445	119
	女 性	423	1			19	1		36		11	286	69
	計	1,091	1			45	19	1	87	1	18	731	188
中 等 症	男 性	2,564	6			99	58	17	247	4	14	1,850	269
	女 性	2,328	2			61	9	3	415	3	29	1,544	262
	計	4,892	8			160	67	20	662	7	43	3,394	531
軽 症	男 性	2,337				339	48	19	462	15	4	1,401	49
	女 性	2,224	3	1		227	13	8	470	10	21	1,429	42
	計	4,561	3	1		566	61	27	932	25	25	2,830	91
そ の 他	男 性	2				1							1
	女 性	1											1
	計	3				1							2



# 救急隊員が行った応急処置等の状況

(令和2年中)

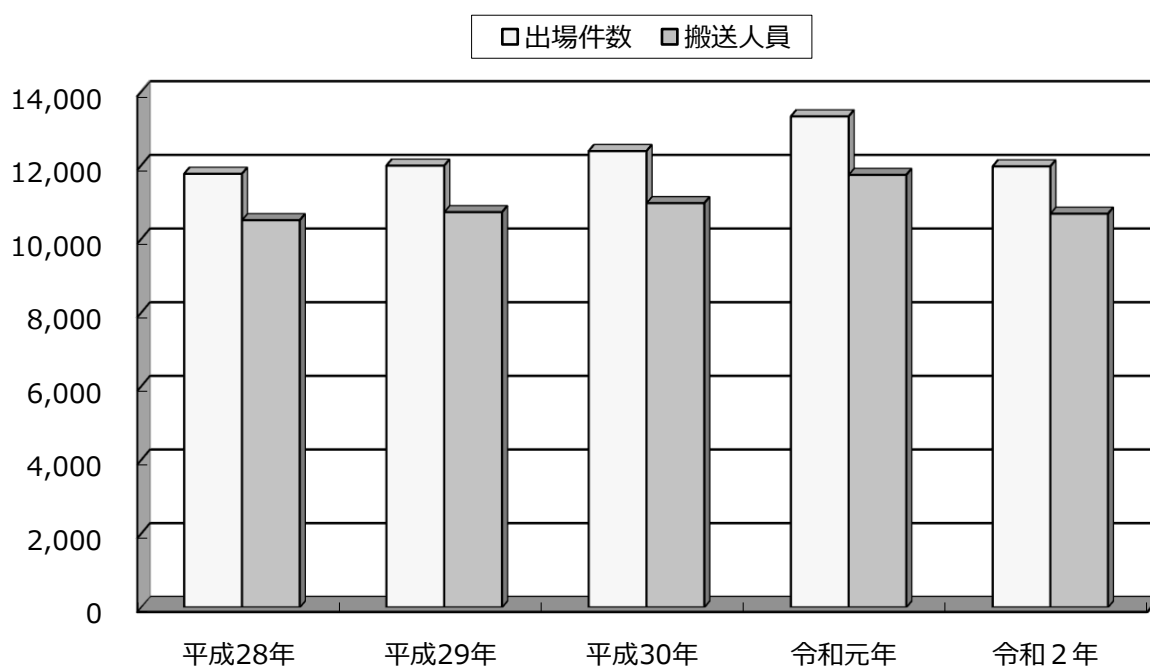
応急処置対象人員	計	急病	交通	一般負傷	左記以外
応急処置項目	10,682	7,080	774	1,686	1,142
止血	62	8	4	45	5
固定	688	21	349	234	84
人工呼吸	43	37	1		5
心マッサージ					
うち自動式心マッサージ					
心肺蘇生	284	247	6	14	17
うち自動心肺蘇生	17	16			1
酸素吸入	2,188	1,651	99	107	331
気道確保	435	373	9	24	29
うち経鼻エアウェイ	5	5			
うち喉頭鏡、鉗子等	15	7		7	1
* うちラリゲアルマスク等	78	70	2	2	4
* うち気管挿管	32	26		4	2
保温	40	23	2	9	6
被覆	803	45	150	512	96
在宅療法継続	2	1		1	
ショックパンツ					
除細動	16	16			
* 静脈路確保	340	296	10	19	15
* うち心肺機能停止	169	146	3	9	11
* うち心肺機能停止前	171	150	7	10	4
* 薬剤投与	94	84	2	2	6
* ブドウ糖投与	25	25			
* エピペン投与					
血圧測定	10,165	6,740	756	1,580	1,089
心音・呼吸音聴取	4,640	3,522	350	397	371
血中酸素飽和度測定	10,403	6,861	765	1,660	1,117
心電図測定	6,022	4,721	238	492	571
うち伝送					
* 血糖測定	250	237	4	8	1
その他処置	10,630	7,050	772	1,683	1,125
計	47,470	32,254	3,527	6,806	4,883

※応急処置等は1人に対して複数実施するため、応急処置対象人員及び事故種別等の数値とは一致しない。

※\*印は救急救命士のみが行うことの出来る処置項目である。

## 救急活動の推移（過去5年間）

年別	事故種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
	区分												
平成28年	出場件数	11,773	47	2	2	1,086	140	86	1,694	74	110	7,534	998
	搬送人員	10,514	13			1,095	138	84	1,552	54	81	6,799	698
平成29年	出場件数	11,995	58		2	1,180	130	62	1,734	58	118	7,675	978
	搬送人員	10,733	12		2	1,150	125	61	1,571	42	86	6,976	708
平成30年	出場件数	12,391	61		1	1,055	151	93	1,776	58	133	8,034	1,029
	搬送人員	10,976	12			1,036	148	88	1,594	38	79	7,210	771
令和元年	出場件数	13,333	51	26	1	968	146	94	1,945	47	122	8,728	1,205
	搬送人員	11,744	13	6		936	143	94	1,746	39	87	7,793	887
令和2年	出場件数	11,976	47	1	2	808	151	50	1,860	47	136	7,822	1,052
	搬送人員	10,690	13	1		774	148	48	1,686	33	92	7,082	813



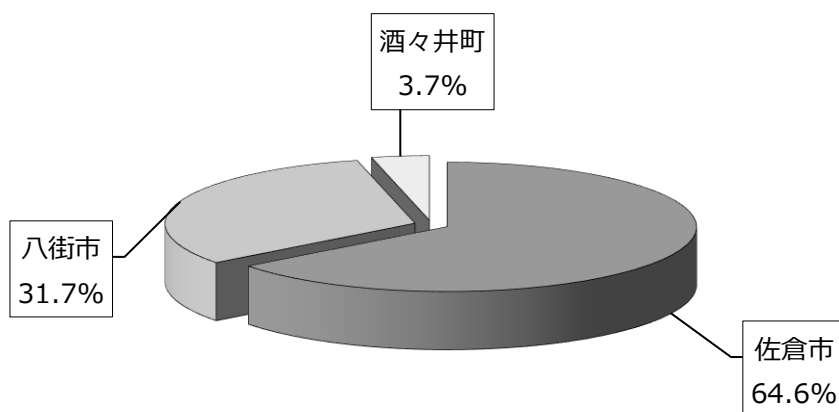
# 事故種別ドクターヘリ連携活動状況

(令和2年中)

事故種別 市町別		救 急 事 故 種 別														
		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	輸 送 等	資 器 材 等
令 和 2 年 中	佐 倉 市	104				17	10		14	2	2	56		2		1
	八 街 市	51	1			16	8		6		1	19				
	酒 々 井 町	6				2	2					2				
	計	161	1			35	20		20	2	3	77		2		1
令 和 元 年 中	佐 倉 市	97				15	16		13		1	50		2		
	八 街 市	48				18	1		2		2	24	1			
	酒 々 井 町	5				2	1					2				
	計	150				35	18		15		3	76	1	2		
比 較	佐 倉 市	7				2	△6		1	2	1	6				1
	八 街 市	3	1			△2	7		4		△1	△5	△1			
	酒 々 井 町	1					1									
	計	11	1				2		5	2		1	△1			1

※△は減少を表す

構成市町別ドクターヘリ連携活動状況



## 救命講習等実施状況

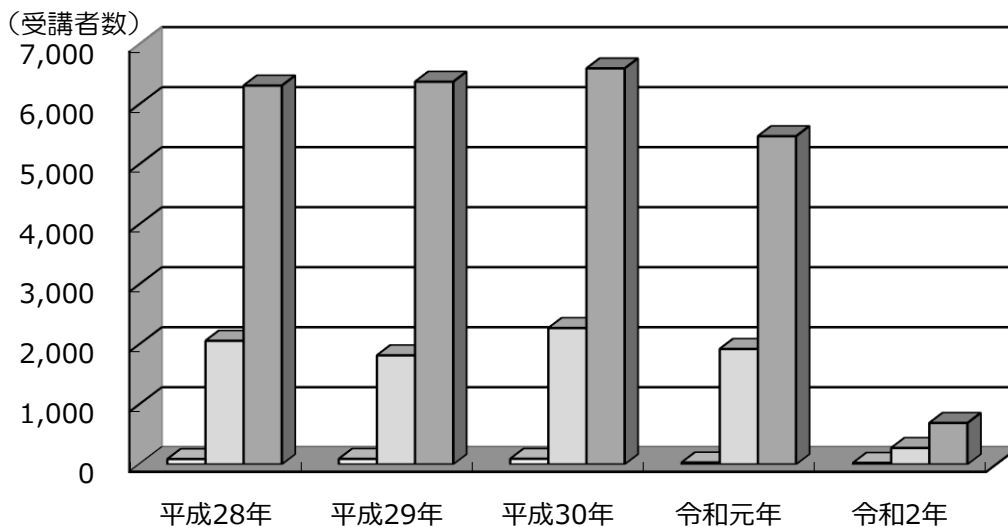
(令和2年中)

区分 所属別	上級救命講習		普通救命講習		救急講習	
	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数
佐倉消防署			13	177	11	375
志津消防署			2	14	6	218
八街消防署			5	68	3	95
酒々井消防署			2	5	1	3
警防課	1	26	1	10		
計	1	26	23	274	21	691

## 救命講習等の推移（過去5年間）

区分 年別	上級救命講習		普通救命講習		救急講習	
	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数
平成28年	2	89	148	2,061	150	6,315
平成29年	2	92	139	1,818	164	6,379
平成30年	2	93	149	2,273	160	6,600
令和元年	1	32	135	1,925	144	5,471
令和2年	1	26	23	274	21	691

□ 上級救命講習 □ 普通救命講習 ■ 救急講習





## 救助活動概要

我が国はこれまで東日本大震災をはじめ多くの災害を経験しており、また今後、首都直下型地震や南海トラフ地震等の発生が危惧され、更には社会構造の複雑多様化、国際社会情勢の不安定化等、住民の救助活動に対する関心は、交通事故による人命救助活動のほか、テロ災害を含む特殊災害・大規模自然災害への即応体制など、高度な人命救助活動に期待が寄せられている。

消防組合では、大規模災害等の緊急事態に、迅速かつ的確に救助活動を展開するため、佐倉消防署救助工作車を更新時に、人命救助のための高度救助用器具（画像探索機、地中音響探知機及び熱画像直視装置等）を備えた特殊車両（救助工作車Ⅲ型）とし、平成27年2月には構成市町消防署配置の救助隊員へ高度な救助技術の専門的教育を行い、佐倉消防署に「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」に基づく「高度救助隊」を新たに設置、八街消防署「特別救助隊」と2隊により救助体制の高度化を図っている。

また、佐倉消防署の高度救助隊は緊急消防援助隊救助部隊として部隊登録を行い、大規模な広域災害発生時には、他県又は他市町村との相互応援体制を強化している。さらに毎年、国際消防救助隊（略称:IRT-JF）に6名の救助隊員を隊員登録し、国外で発生する地震災害をはじめ、各種自然災害に起因する人命救助活動にも即応できる体制整備を行い、国際的支援体制の強化も図っている。

令和2年中における救助業務実施状況は、救助出動件数149件、救助活動件数88件、救助人員66人となっており、救助出動件数を構成市町別にみると佐倉市92件（61.8%）、八街市44件（29.5%）及び酒々井町13件（8.7%）となっている。これを前年と比較すると救助出動件数が24件（13.9%）、救助活動件数20件（18.5%）、救助人員46人（41.1%）がそれぞれ減少している。

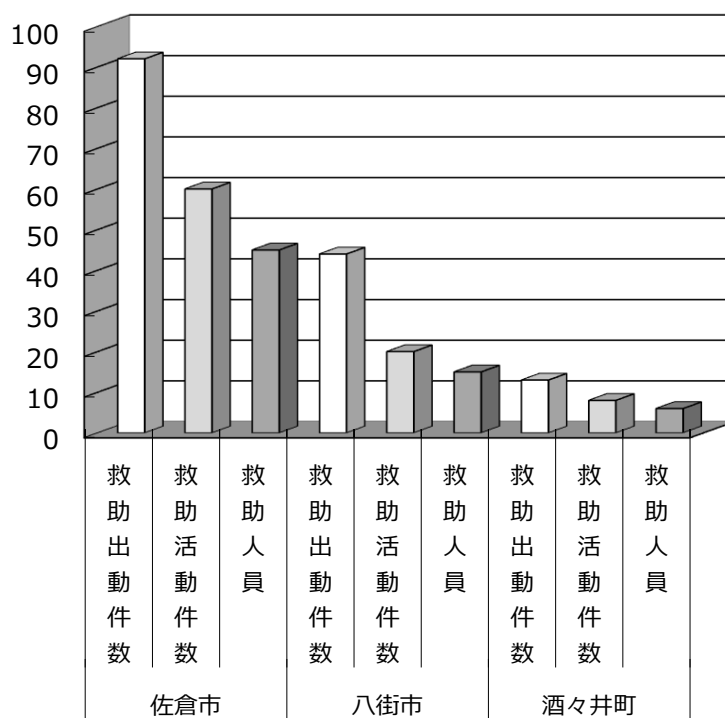
# 構成市町別救助活動状況

(令和2年中)

市町別	事故種別 区分	計	火災		交通 事故	水 難 事 故	自 然 災 害	風 水 災 害	事 機 械 に よ る 故	よ 建 物 等 に よ る 故	酸 ガ ス 事 故	破 裂 事 故	事 其 他 の 故
			建 物	建 物 以 外									
計	救助出動件数	149			50			1	1	82	1		14
	救助活動件数	88			24			1	1	54	1		7
	救助人員	66			25			1	1	30	2		7
佐倉市	救助出動件数	92			27			1	1	50	1		12
	救助活動件数	60			12			1	1	40	1		5
	救助人員	45			13			1	1	23	2		5
八街市	救助出動件数	44			17					26			1
	救助活動件数	20			9					10			1
	救助人員	15			9					5			1
酒々井町	救助出動件数	13			6					6			1
	救助活動件数	8			3					4			1
	救助人員	6			3					2			1

※救助出動件数のうち火災においては、救助活動の行うことのできる資機材等を装備した消防隊が出動した火災で、救助活動を行った件数とする。

※その他の事故とは、各事故種別以外の事故で、救助を必要としたものをいう。



## 事故種別救助出動人員及び活動人員

(令和2年中)

隊員別	事故種別 区分	計	火災		交通 事故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 害 等	事 機 械 に よ る 故	よ 建 物 事 等 に 故	酸 欠 事 及 び 故	ガ ス 事 及 び 故	破 裂 事 故	事 の 他 の 故
			建 物	建 物 以 外										
計	救助出動人員	1,809			968	21			18	650	21			131
	救助活動人員	352			156	4			4	162	4			22
専任救助隊	救助出動人員	288			246	4			4	20	4			10
	救助活動人員	48			40				4	4				
兼任救助隊	救助出動人員	258			111	1			1	121	2			22
	救助活動人員	95			26					64	1			4
消防隊員	救助出動人員	753			410	10			10	257	9			57
	救助活動人員	143			58	4				70	3			8
救急隊員	救助出動人員	510			201	6			3	252	6			42
	救助活動人員	66			32					24				10
消防団員	救助出動人員													
	救助活動人員													

※各欄の上段は出動人員、下段は活動人員を示す。「出動人員」とは、救助活動を行うために出動した全ての人員をいい、火災の場合には、出動した全ての人員をいう。「活動人員」とは出動人員のうち実際に救助活動を行った人員をいう。

## 事故種別救助出動車両及び活動車両

(令和2年中)

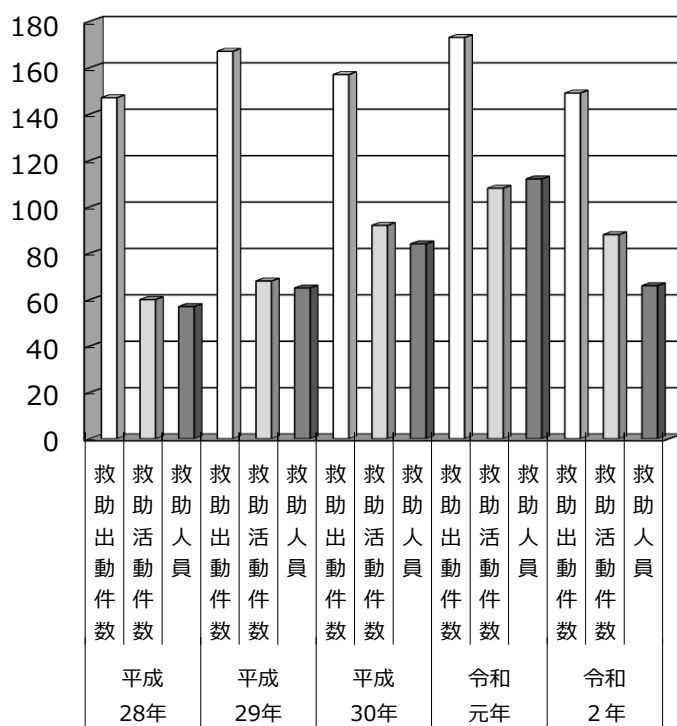
車両別	事故種別 区分	計	火災		交通 事故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 害 等	事 機 械 に よ る 故	よ 建 物 事 等 に 故	酸 欠 事 及 び 故	ガ ス 事 及 び 故	破 裂 事 故	事 の 他 の 故
			建 物	建 物 以 外										
計	救助出動車両	526			283	7			5	188	6			37
	救助活動車両	123			49	1			1	63	1			8
救助工作車	救助出動車両	74			63	1			1	5	1			3
	救助活動車両	14			12				1	1				
消防ポンプ自動車	救助出動車両	185			85	2			1	82	2			13
	救助活動車両	75			21	1				49	1			3
消防はしご付自動車	救助出動車両	4								4				
	救助活動車両													
化学消防ポンプ自動車	救助出動車両	37			23				1	8				5
	救助活動車両	10			5					4				1
指揮車及び 先行車	救助出動車両	55			45	1			1	5	1			2
	救助活動車両	1								1				
救急自動車	救助出動車両	169			67	2			1	84	2			13
	救助活動車両	23			11					8				4
その他	救助出動車両	2				1								1
	救助活動車両													
消防団車両	救助出動車両													
	救助活動車両													

※各欄の上段は出動車両、下段は活動車両を示す。「出動車両」とは、救助活動を行うために出動した全ての車両をいい、火災の場合には、出動した全ての車両をいう。「活動車両」とは、出動車両のうち実際に救助活動を行った車両をいう。

## 救助活動の推移（過去5年間）

年別	事故種別 区分	計	火災		交通 事故	水 難 事 故	自 然 災 害 等	風 水 害 等	事 機 械 に よ る 事 故	よ 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故 及 び	ガ ス 事 故	破 裂 事 故	事 そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外										
平成 28年	救助出動件数	147	4		55	2	4	2	2	2				76
	救助活動件数	60	4		14	1	1	1						39
	救助人員	57	3		18	1	1	1						33
平成 29年	救助出動件数	167	5	1	57	1		4	1					98
	救助活動件数	68	5	1	15	1		1						45
	救助人員	65	1	1	15	1		1						46
平成 30年	救助出動件数	157	5		51	1		5	1					94
	救助活動件数	92	5		20	1		5	1					60
	救助人員	84	3		21	1		5	1					53
令和 元年	救助出動件数	173	2		43	2	18	2	5	1				100
	救助活動件数	108	2		25	1	7	2	4	1				66
	救助人員	112	4		27	1	15	2	3	1				59
令和 2年	救助出動件数	149			50		1	1	82	1				14
	救助活動件数	88			24		1	1	54	1				7
	救助人員	66			25		1	1	30	2				7

※住宅の施錠による閉じ込めを、令和元年までは、その他の事故として計上していたが、令和2年から、建物等による事故として計上することに変更したことから双方に顕著な増減を認めた。



# 救助資機(器)材の保有状況

(令和3年4月1日現在)

名 称		数量	名 称		数量
一般救助用	カギ付はしご (チタン製)	2	水難救助用	潜水器具	8
	三連はしご (チタン製)	2		救命胴衣	15
	ワイヤーはしご	2		救命浮環	14
	空気式救助マット	2		浮標	2
	救命索発射銃	2		救命ボート	4
	サバイバースリング及び救助用縛帯	7		船外機	3
	平坦架	5		水中ライト	4
	バスケット担架 (山岳救助用)	3		隊員保護用	陽圧式化学防護服
重量物排除用	油圧式ジャッキ	3	化学防護服 (陽圧式化学防護服除く)		12
	油圧式スプレッダー	2	放射線防護服		5
	可搬ウインチ	2	耐電手袋		8
	マット型空気ジャッキ	2	耐電衣等		6
	大型油圧式スプレッダー	2	保呼吸用		空気呼吸器
	マンホール救助器具	2		酸素呼吸器	4
切断用	大型油圧切断機	3		送排風機	2
	エンジンカッター	2	高度救助用	画像探索器	3
	ガス溶断器	2		熱画像直視装置	2
	チェーンソー	2		水中探査装置	0
	鉄線カッター	5		地中音響探知機	1
	空気鋸	2		夜間用暗視装置	1
破壊用	万能斧	8		地震警報器	1
	ハンマー	1	その他	携帯拡声器	4
	削岩機	4		携帯無線機	8
	ハンマドリル	4		緩降機	2
測定用	有毒ガス測定器	2		ロープ登降機	8
	可燃性・有毒ガス及び酸素濃度測定器	2	応急処置セット	2	
	放射線測定器	2			

※救助隊が保有する資機(器)材数を掲載

## 消防応援協定

(令和3年4月1日現在)

協定名	協定年月日	協定締結機関名	備考
千葉県広域消防相互応援協定	平成4年4月1日 平成15年3月24日 (改正) 平成18年8月22日 (改正)	県下市町村及び一部事務組合の消防機関	非常災害時に備え、消防組織法第39条第2項の規定により、消防相互応援協定を締結している。
東関東自動車道及び新空港自動車道消防相互応援協定	平成25年4月10日	千葉市、市川市、船橋市、成田市、佐倉市、習志野市、浦安市、四街道市、印旛郡酒々井町、富里市、香取広域市町村圏事務組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合、潮来市、鹿行広域事務組合	
成田国際空港消防相互応援協定	平成18年7月12日	成田市、佐倉市八街市酒々井町消防組合、山武郡市広域行政組合、四街道市、印西地区消防組合、富里市、匝瑳市横芝光町消防組合、香取広域市町村圏事務組合、栄町、成田国際空港株式会社	
鉄道災害時における鉄道軌道事業者と消防機関との連携に関する協定	平成21年3月31日	県下市町村及び一部事務組合の消防機関、鉄道軌道事業者、千葉県	
木更津IC～松尾横芝IC首都圏中央連絡自動車道消防相互応援協定	平成25年4月27日 平成31年3月8日 (改正) 令和 2年2月14日 (改正)	千葉市、木更津市、市原市、長生郡市広域市町村圏組合、山武郡市広域行政組合、佐倉市八街市酒々井町消防組合	

# 消防音楽隊編

## <内 容>

- ◇ 音楽隊員所属・階級別表 . . . . . 101
- ◇ 音楽隊の編成 . . . . . 101
- ◇ 音楽隊出演及び練習状況 . . . . . 101
- ◇ 音楽隊出演行事 . . . . . 101



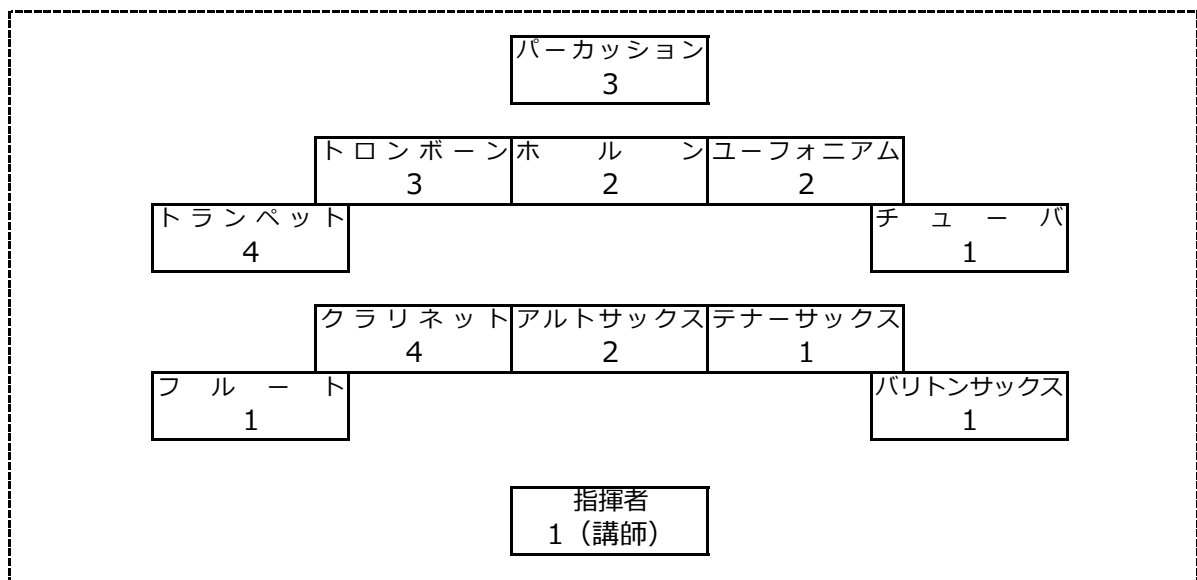


## 音楽隊員所属・階級別表

(令和3年4月1日現在)

階級別 所属別	計	消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消 防 士
計	24		5	11	8	
消 防 本 部	8		1	3	4	
消 防 署	16		4	8	4	

## 音楽隊の編成



## 音楽隊出演及び練習状況

(令和2年度中)

区 分	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計	16				2	2	3	3	4	2			
出 演	1								1				
練 習	15				2	2	3	3	3	2			

## 音楽隊出演行事

(令和2年度中)

	出演日	出演行事	場所
1	令和2年11月6日	山万ユウカリが丘コミュニティーバス開業記念式典	京成ユウカリが丘駅北口ロータリー



# 消 防 団 編

## <内 容>

### 佐倉市消防団関係（資料提供：佐倉市）

◇ 消防団員配置状況	105
◇ 所属別消防団員数	105
◇ 消防団員の在職年数	105
◇ 消防団員の年齢構成	106
◇ 消防団員の職業	106
◇ 消防団車両及び小型ポンプ配置状況	107
◇ 消防水利	109

### 八街市消防団関係（資料提供：八街市）

◇ 消防団員配置状況	110
◇ 所属別消防団員数	110
◇ 消防団員の在職年数	111
◇ 消防団員の年齢構成	111
◇ 消防団員の職業	111
◇ 消防団車両及び小型ポンプ配置状況	112
◇ 消防水利	113

### 酒々井町消防団関係（資料提供：酒々井町）

◇ 消防団員配置状況	114
◇ 所属別消防団員数	114
◇ 消防団員の在職年数	114
◇ 消防団員の年齢構成	115
◇ 消防団員の職業	115
◇ 消防団車両及び小型ポンプ配置状況	116
◇ 消防水利	117



佐倉市消防団関係（資料提供：佐倉市）  
消防団員配置状況

（令和3年4月1日現在）

区分	階級 (職名)	計	団	副	副	分	分	副	部	班	団
			長	長	(本 団 部長)	(本 団 部長)	長	分 団 長	長	長	長
定員		805	階級別の定員区分なし								
実員		727	1	3	5	2	7	7	53	53	596

所属別消防団員数

（令和3年4月1日現在）

分団別	階級 (職名)	管轄区域	計	団	副	副	分	分	副	部	班	団
				長	長	(本 団 部長)	(本 団 部長)	長	分 団 長	長	長	長
計			727	1	3	5	2	7	7	53	53	596
団本部			26	1	3	5	2			1	1	13
第1分団	佐倉		145					1	1	10	10	123
第2分団	志津		125					1	1	9	9	105
第3分団	臼井		89					1	1	6	6	75
第4分団	根郷		138					1	1	10	10	116
第5分団	和田		65					1	1	6	6	51
第6分団	弥富		79					1	1	6	6	65
第7分団	千代田		60					1	1	5	5	48

消防団員の在職年数

（令和3年4月1日現在）

区分	階級 (職名)	計	団	副	副	分	分	副	部	班	団
			長	長	(本 団 部長)	(本 団 部長)	長	分 団 長	長	長	長
計		727	1	3	5	2	6	7	53	53	597
5年未満		118						1	7	12	98
5年以上～10年未満		129					1		17	14	97
10年以上～15年未満		123					1		7	13	102
15年以上～20年未満		154			2		1	2	9	7	133
20年以上～25年未満		106		1	1	1			8	6	89
25年以上～30年未満		60				1	3	2	5		49
30年以上		37	1	2	2			2		1	29

## 消防団員の年齢構成

(令和3年4月1日現在)

階級 (職名)	計	団 長	副 団 長	副 (本 団 部長 長)	分 (本 団 部員 長)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
計	727	1	3	5	2	7	7	53	53	596
19歳以下										
20歳～29歳	47							1	5	41
30歳～39歳	160					1		14	15	130
40歳～49歳	344					1	2	31	30	280
50歳以上	176	1	3	5	2	5	5	7	3	145

## 消防団員の職業

(令和3年4月1日現在)

区分	計	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気・ガ ス・熱 供給・ 水道業	運 輸・ 通信 業	卸 売・小 売業・ 飲食 店	金 融・ 保 險 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	特 殊法 人等 公務 員に 準ず る職 員	分 類 不 能 の 産 業	そ の 他
人数	727	41			2	91	111	26	70	47	9	7	160	2	36	18	15	92

# 消防団車両及び小型ポンプ配置状況

(令和3年4月1日現在)

所属	車両名称	年式	車種	ポンプメーカー	
消防団本部	乗用車	H9	トヨタ		
第1分団	1部	消防ポンプ自動車	H24	日野	GM いちはら
	2部	消防ポンプ自動車	H11	三菱	GM いちはら
	3部	消防ポンプ自動車	H25	日野	GM いちはら
	4部	消防ポンプ自動車	H18	いすゞ	GM いちはら
	5部	小型動力ポンプ積載車	H22	ニッサン	トーハツ
	6部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHI シバウラ
	7部	小型動力ポンプ積載車	H18	ニッサン	トーハツ
	8部	小型動力ポンプ積載車	H20	ニッサン	マキタ 沼津
	9部	小型動力ポンプ積載車	H22	ニッサン	マキタ 沼津
	10部	小型動力ポンプ積載車	H16	ニッサン	マキタ 沼津
第2分団	11部	消防ポンプ自動車	H24	日野	GM いちはら
	12部	小型動力ポンプ積載車	H22	ニッサン	トーハツ
	13部	小型動力ポンプ積載車	H29	ニッサン	IHI シバウラ
	14部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHI シバウラ
	15部	小型動力ポンプ積載車	H31	ニッサン	IHI シバウラ
	16部	小型動力ポンプ積載車	H18	ニッサン	トーハツ
	17部	消防ポンプ自動車	H24	日野自動車	野口ポンプ
	18部	小型動力ポンプ積載車	H16	ニッサン	トーハツ
	19部	消防ポンプ自動車	H11	三菱	GM いちはら
第3分団	22部	消防ポンプ自動車	H11	三菱	GM いちはら
	23部	小型動力ポンプ積載車	H16	ニッサン	マキタ 沼津
	24部	小型動力ポンプ積載車	H18	ニッサン	トーハツ
	25部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHI シバウラ
	26部	小型動力ポンプ積載車	H26	ニッサン	IHI シバウラ
	27部	小型動力ポンプ積載車	H22	ニッサン	マキタ 沼津

所属	車両名称	年式	車種	ポンプメーカー	
第4分団	30部	小型動力ポンプ積載車	H22	ニッサン	マキタ沼津
	31部	小型動力ポンプ積載車	H20	ニッサン	マキタ沼津
	32部	小型動力ポンプ積載車	H19	ニッサン	トーハツ
	33部	消防ポンプ自動車	H25	日野	GMいちほら
	34部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHIシバウラ
	35部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHIシバウラ
	36部	小型動力ポンプ積載車	H7	ニッサン	マキタ沼津
	37部	小型動力ポンプ積載車	H20	ニッサン	マキタ沼津
	38部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHIシバウラ
	39部	小型動力ポンプ積載車	H16	ニッサン	マキタ沼津
第5分団	41部	小型動力ポンプ積載車	H29	ニッサン	IHIシバウラ
	42部	小型動力ポンプ積載車	R2	ニッサン	シバウラ
	43部	小型動力ポンプ積載車	H26	ニッサン	IHIシバウラ
	44部	小型動力ポンプ積載車	R2	ニッサン	シバウラ
	45部	小型動力ポンプ積載車	H20	ニッサン	マキタ沼津
	48部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHIシバウラ
第6分団	51部	小型動力ポンプ積載車	H21	ニッサン	トーハツ
	52部	小型動力ポンプ積載車	H18	ニッサン	トーハツ
	53部	小型動力ポンプ積載車	H19	ニッサン	トーハツ
	54部	小型動力ポンプ積載車	H24	ニッサン	マキタ沼津
	55部	小型動力ポンプ積載車	H26	ニッサン	IHIシバウラ
	56部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHIシバウラ
第7分団	61部	小型動力ポンプ積載車	H16	ニッサン	トーハツ
	62部	小型動力ポンプ積載車	H28	ニッサン	IHIシバウラ
	63部	小型動力ポンプ積載車	H26	ニッサン	IHIシバウラ
	64部	小型動力ポンプ積載車	H16	ニッサン	マキタ沼津
	65部	小型動力ポンプ積載車	H21	ニッサン	トーハツ
指揮車	ステップワゴン	H15	ホンダ		



# 消防水利

(令和3年4月1日現在)

区分 地区別	合 計	防 火 水 槽				消火栓
		計	20m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上	
計	2,602	1,091	252	137	702	1,511
佐 倉	415	166	43	18	105	249
志 津	877	310	33	27	250	567
臼 井	320	86	19	11	56	234
根 郷	466	230	48	24	158	236
和 田	154	125	47	24	54	29
弥 富	136	96	36	16	44	40
千 代 田	234	78	26	17	35	156

八街市消防団関係（資料提供：八街市）

消防団員配置状況

（令和3年4月1日現在）

区分	階級 (職名)	計	団	副	分	分	副	部	班	団
			長	長	(本部 団役員 長)	団 長	分 団 長	長	長	長
定員		480	団長以下10名以内			階級別の定員区分なし				
実員		355	1	3	2	24	24	24	67	210

所属別消防団員数

（令和3年4月1日現在）

分団別	階級 (職名)	計	団	副	分	分	副	部	班	団
			長	長	(本部 団役員 長)	団 長	分 団 長	長	長	長
計		355	1	3	2	24	24	24	67	210
団本部		6	1	3	2					
第1分団		17				1	1	1	3	11
第2分団		21				1	1	1	3	15
第3分団		16				1	1	1	3	10
第4分団		17				1	1	1	3	11
第5分団		8				1	1	1	2	3
第6分団		16				1	1	1	3	10
第7分団		11				1	1	1	2	6
第8分団		16				1	1	1	3	10
第9分団										
第10分団		16				1	1	1	3	10
第11分団		14				1	1	1	3	8
第12分団		5				1	1	1	1	1
第13分団		18				1	1	1	3	12
第14分団		18				1	1	1	3	12
第15分団		16				1	1	1	3	10
第16分団		16				1	1	1	4	9
第17分団		14				1	1	1	3	8
第18分団		16				1	1	1	3	10
第19分団		17				1	1	1	3	11
第21分団		13				1	1	1	3	7
第22分団		15				1	1	1	3	9
第23分団		10				1	1	1	2	5
第24分団		8				1	1	1	2	3
第25分団		12				1	1	1	3	6
第26分団		10				1	1	1	2	5
女性消防班		9							1	8

## 消防団員の在職年数

(令和3年4月1日現在)

区分	階級 (職名)	計	団	副	分	分	副	部	班	団
			長	長	(本部役員) 長	長	分 長	長	長	長
計		355	1	3	2	24	24	24	67	210
	5年未満	72				4	2	2	9	55
	5年以上～10年未満	104				5	9	11	34	45
	10年以上～15年未満	77				7	7	2	14	47
	15年以上～20年未満	61				7	2	6	3	43
	20年以上～25年未満	23			2		2		5	14
	25年以上～30年未満	12				1	2	3	2	4
	30年以上	6	1	3						2

## 消防団員の年齢構成

(令和3年4月1日現在)

区分	階級 (職名)	計	団	副	分	分	副	部	班	団
			長	長	(本部役員) 長	長	分 長	長	長	長
計		355	1	3	2	24	24	24	67	210
	19歳以下	2							1	1
	20歳～29歳	36				2	1	2	8	23
	30歳～39歳	145				13	10	9	33	80
	40歳～49歳	81			1	5	9	6	11	49
	50歳以上	91	1	3	1	4	4	7	14	57

## 消防団員の職業

(令和3年4月1日現在)

区分	計	農	林	漁	鉱	建	製	電	運	卸	金	不	サ	国	地	特	分	そ
		業	業	業	業	設	造	気・ガス・熱供給・水道業	輸・通信業	売・小売業・飲食店	融・保険業	動産業	ービス業	家公務員	方公務員	殊法人等公務員に準ずる職員	類不能の産業	の他
人数																		
計	355	91	4			39	30	17	17	24	3		53	1	36	4	4	32

# 消防団車両及び小型ポンプ配置状況

(令和3年4月1日現在)

所属	車両名称	年式	車種	ポンプメーカー
消防団本部	消防団指揮車	H25	三菱	
	消防団指揮車	H14	ニッサン	
第1分団	小型動力ポンプ付水槽車	H29	日野	トーハツ
第2分団	消防ポンプ自動車	H21	いすゞ	日本機械
第3分団	消防ポンプ自動車	H22	日野	日本機械
第4分団	小型動力ポンプ積載車	H29	ニッサン	トーハツ
第5分団	小型動力ポンプ付水槽車	H28	日野	トーハツ
第6分団	消防ポンプ自動車	H6	日野	日本機械
第7分団	小型動力ポンプ付水槽車	H27	日野	トーハツ
第8分団	小型動力ポンプ付水槽車	H26	日野	トーハツ
第9分団	小型動力ポンプ付水槽車	H30	日野	トーハツ
第10分団	小型動力ポンプ付水槽車	R3	日野	トーハツ
第11分団	消防ポンプ自動車	H23	いすゞ	日本機械
第12分団	小型動力ポンプ積載車	H29	ニッサン	トーハツ
第13分団	小型動力ポンプ付水槽車	H11	ニッサン	トーハツ
第14分団	小型動力ポンプ付水槽車	H12	ニッサン	富士ロビン
第15分団	消防ポンプ自動車	H21	いすゞ	日本機械
第16分団	小型動力ポンプ付水槽車	H7	三菱	富士ロビン
第17分団	小型動力ポンプ付水槽車	H13	ニッサン	富士ロビン
第18分団	小型動力ポンプ付水槽車	H18	日野	富士ロビン
第19分団	小型動力ポンプ積載車	H18	日野	富士ロビン
第21分団	小型動力ポンプ付水槽車	H15	ニッサン	富士ロビン
第22分団	小型動力ポンプ積載車	H31	ニッサン	トーハツ
第23分団	小型動力ポンプ積載車	R2	日野	トーハツ
第24分団	小型動力ポンプ付水槽車	H14	日野	富士ロビン
第25分団	小型動力ポンプ付水槽車	H20	トヨタ	トーハツ
第26分団	小型動力ポンプ付水槽車	H16	日野	富士ロビン

# 消防水利

(令和3年4月1日現在)

区分 地区別	合計	防火水槽				消火栓
		計	20m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上	
計	1,764	1,125	362	68	695	639
八街東	235	109	25	9	75	126
実住	422	199	69	12	118	223
朝陽・北小	376	202	43	9	150	174
交進	233	167	61	7	99	66
笹引	109	78	29	1	48	31
二州	206	206	77	21	108	
川上	183	164	58	9	97	19

酒々井町消防団関係（資料提供：酒々井町）

消防団員配置状況

（令和3年4月1日現在）

区分	階級 (職名)	計	団 長	副 団 長	分(本 団部 員 長)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員 (機能別 団員含)
定員		173	1	6		13	13	13	13	114
実員		160	1	3	1	13	13	13	13	103

所属別消防団員数

（令和3年4月1日現在）

分団別	階級 (職名)	管轄区域	計	団 長	副 団 長	分(本 団部 員 長)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員 (機能別 団員含)
計			160	1	3	1	13	13	13	13	103
団本部			5	1	3	1					
第1分団		下台・酒々井	15				1	1	1	1	11
第2分団		上岩橋	14				1	1	1	1	10
第3分団		墨	14				1	1	1	1	10
第4分団		上本佐倉	12				1	1	1	1	8
第5分団		本佐倉	11				1	1	1	1	7
第6分団		馬橋	12				1	1	1	1	8
第7分団		尾上	12				1	1	1	1	8
第8分団		中川	12				1	1	1	1	8
第9分団		柏木	10				1	1	1	1	6
第10分団		下岩橋	12				1	1	1	1	8
第11分団		伊篠	12				1	1	1	1	8
第12分団		飯積	11				1	1	1	1	7
第13分団		伊篠新田	8				1	1	1	1	4

消防団員の在職年数

（令和3年4月1日現在）

区分	階級 (職名)	計	団 長	副 団 長	分(本 団部 員 長)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
計		160	1	3	1	13	13	13	13	103
5年未満		14						1	2	11
5年以上～10年未満		18				2	5	2	1	8
10年以上～15年未満		28				3	2	2	3	18
15年以上～20年未満		23				3	1		3	16
20年以上～25年未満		31		1		2	1	3	2	22
25年以上～30年未満		25		1			2	3	2	17
30年以上		21	1	1	1	3	2	2		11

## 消防団員の年齢構成

(令和3年4月1日現在)

階級 (職名)	計	団 長	副 団 長	分 団 長 (本 部 員)	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
区 分									
計	160	1	3	1	13	13	13	13	103
19歳以下									
20歳～29歳	6					1		1	4
30歳～39歳	46				6	6	4	4	26
40歳～49歳	55				3	2	4	5	41
50歳以上	53	1	3	1	4	4	5	3	32

## 消防団員の職業

(令和3年4月1日現在)

区分	計	農 業	林 業	漁 業	鉱 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	運 輸 ・ 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業 ・ 飲 食 店	金 融 ・ 保 險 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	国 家 公 務 員	地 方 公 務 員	特 殊 法 人 等 公 務 員 に 準 ず る 職 員	分 類 不 能 の 産 業	そ の 他
人数																		
計	160	11			1	22	17	9	21	15	6		21	2	26	2	5	2

## 消防団車両及び小型ポンプ配置状況

(令和3年4月1日現在)

所属	車両名称	年式	車種	ポンプメーカー
第1分団	消防ポンプ自動車	H16	日野	日本機械
第2分団	消防ポンプ自動車	H16	日野	日本機械
第3分団	小型動力ポンプ積載車	H23	ニッサン	富士ロビン
第4分団	小型動力ポンプ積載車	H6	ニッサン	トハツ
第5分団	小型動力ポンプ積載車	H6	ニッサン	トハツ
第6分団	小型動力ポンプ積載車	H24	ニッサン	トハツ
第7分団	小型動力ポンプ積載車	H25	ニッサン	トハツ
第8分団	小型動力ポンプ積載車	H7	ニッサン	トハツ
第9分団	小型動力ポンプ積載車	H22	ニッサン	トハツ
第10分団	小型動力ポンプ積載車	H23	ニッサン	トハツ
第11分団	小型動力ポンプ積載車	H7	ニッサン	富士ロビン
第12分団	小型動力ポンプ積載車	H7	ニッサン	トハツ
第13分団	小型動力ポンプ積載車	H25	ニッサン	トハツ



# 消防水利

(令和3年4月1日現在)

地区別 区分	合 計	防 火 水 槽				消火栓
		計	20m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上	
計	508	163	50	17	96	345
下 台	7	4	2		2	3
酒 々 井	48	16	6	2	8	32
上 岩 橋	51	17	8	2	7	34
墨	33	14	7	3	4	19
上本佐倉	28	8	4		4	20
本 佐 倉	43	17	3	1	13	26
馬 橋	26	11	1	2	8	15
尾 上	21	11	6	1	4	10
中 川	17	2	1	1		15
柏 木	7	2	1	1		5
下 岩 橋	27	9	3	1	5	18
伊 篠	22	9	4	1	4	13
飯 積	33	8	1	1	6	25
伊篠新田	6	5	3	1	1	1
篠山新田	2	2			2	
東酒々井	65	13			13	52
中 央 台	58	11			11	47
ふじき野	14	4			4	10

消 防 年 報  
令和 3 年版

令和 3 年 6 月 発 行  
佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部  
〒285-8619 千葉県佐倉市大蛇町 281 番地  
TEL 043-481-0119 (代表)  
043-481-1206 (直通)  
FAX 043-484-2502  
E-mail [kikakuka@119-sys.jp](mailto:kikakuka@119-sys.jp)  
URL <http://www.119-sys.jp/>  
編集発行 企画課